

令和5年度定時総会

議案書

日 時 令和5年5月31日（水）
午後1時30分開会

場 所 江田島コミュニティセンター（3F集会室）
（江田島市江田島町小用二丁目17番1号）

公益社団法人 江田島市シルバー人材センター

シルバー人材センター 基本理念

自主 自分たちで考え

自立 自分たちでつくり育て

共働 一緒になって働き

共助 互いに助け合う

令和5年度定時総会次第

1 開会のことば

2 理事長あいさつ

3 来賓祝辞

4 議長選出

5 定足数報告

6 報告

第1号報告 令和4年度収支補正予算の件

7 議事

第1号議案 令和4年度事業報告及び令和4年度決算の承認並びに
監査報告の件

第2号議案 理事及び監事の選任の件

第3号議案 理事長に対する権限委任の承認の件

8 報告

第2号報告 令和5年度事業計画の件

第3号報告 令和5年度収支予算並びに令和5年度資金調達及び設備
投資の見込みの件

9 その他

10 閉会のことば

----- 休憩 -----

令和5年度 互助会総会

目 次

第 1 号報告	令和 4 年度収支補正予算の件-----	1
第 1 号議案	令和 5 年度事業報告及び令和 5 年度決算の承認並びに 監査報告の件 -----	6
第 2 号議案	理事及び監事の選任の件 -----	4 8
第 3 号議案	理事長に対する権限委任の承認の件 -----	5 0
第 2 号報告	令和 5 年度事業計画の件 -----	5 1
第 3 号報告	令和 5 年度収支予算並びに令和 5 年度資金調達及び 設備投資の見込みの件 -----	5 5

第 1 号報告

令和 4 年度収支補正予算の件

公益社団法人江田島市シルバー人材センターの令和 4 年度収支補正予算について、定款第 4 2 条第 1 項の規定に基づき、総会へ報告する。

令和 5 年 5 月 3 1 日提出

公益社団法人 江田島市シルバー人材センター
理事長 瀬戸本 三 郎

収支補正予算書

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当初予算額	補正予算額	予算現額
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受託事業収益	98,144,000	4,040,000	102,184,000
受取配分金	72,193,000	540,000	72,733,000
受取材料費等	10,100,000	3,500,000	13,600,000
受取事務費	15,851,000	0	15,851,000
指定管理事業等受託収益	2,520,000	240,000	2,760,000
指定管理事業等受託収益	2,520,000	240,000	2,760,000
労働者派遣事業等受託収益	907,000	300,000	1,207,000
労働者派遣事業等受託収益	907,000	300,000	1,207,000
受取会費	444,000	7,000	451,000
正会員受取会費	432,000	0	432,000
ゴールド会員受取会費	10,000	7,000	17,000
特別会員受取会費	1,000	0	1,000
賛助会員受取会費	1,000	0	1,000
受取補助金等	31,158,000	0	31,158,000
受取連合交付金	14,339,000	0	14,339,000
受取地方公共団体補助金	16,819,000	0	16,819,000
受取負担金	15,000	0	15,000
受取負担金	15,000	0	15,000
受取寄付金	1,000	0	1,000
受取寄付金	1,000	0	1,000
特定資産運用益	1,000	0	1,000
特定資産受取利息	1,000	0	1,000
雑収益	93,000	270,000	363,000
受取利息	1,000	0	1,000
受取保険金	1,000	270,000	271,000
雑収益	91,000	0	91,000
経常収益計	133,283,000	4,857,000	138,140,000
(2) 経常費用			0
事業費	132,819,000	4,340,000	137,159,000
支払配分金	72,193,000	540,000	72,733,000
支払材料費等	10,100,000	3,500,000	13,600,000
役員報酬	1,710,000	0	1,710,000
給料手当	23,550,000	△ 2,041,000	21,509,000
臨時雇賃金	1,293,000	△ 133,000	1,160,000
法定福利費	3,430,000	0	3,430,000

科 目	当初予算額	補正予算額	予算現額
退職給付費用	2,255,000	0	2,255,000
福利厚生費	7,000	0	7,000
会議費	34,000	4,000	38,000
旅費交通費	223,000	403,000	626,000
通信運搬費	1,705,000	0	1,705,000
減価償却費	1,100,000	68,000	1,168,000
什器備品費	121,000	△ 119,000	2,000
消耗品費	1,377,000	766,000	2,143,000
修繕費	1,753,000	59,000	1,812,000
印刷製本費	596,000	74,000	670,000
光熱水料費	1,759,000	388,000	2,147,000
賃借料	1,784,000	35,000	1,819,000
保険料	1,524,000	26,000	1,550,000
諸謝金	2,570,000	318,000	2,888,000
租税公課	1,374,000	△ 290,000	1,084,000
支払負担金	10,000	△ 5,000	5,000
委託費	1,609,000	305,000	1,914,000
教材費	1,000	20,000	21,000
支払手数料	183,000	28,000	211,000
貸倒損失	0	9,000	9,000
燃料費	415,000	115,000	530,000
損害賠償金	1,000	270,000	271,000
雑費	142,000	0	142,000
管理費	1,470,000	944,000	2,414,000
役員報酬	330,000	128,000	458,000
給料手当	428,000	771,000	1,199,000
法定福利費	76,000	0	76,000
退職給付費用	36,000	0	36,000
福利厚生費	3,000	0	3,000
会議費	43,000	0	43,000
役員等旅費交通費	52,000	28,000	80,000
通信運搬費	58,000	0	58,000
減価償却費	6,000	0	6,000
消耗品費	12,000	0	12,000
印刷製本費	9,000	0	9,000
光熱水料費	44,000	0	44,000
租税公課	73,000	0	73,000
支払負担金	282,000	17,000	299,000
支払手数料	10,000	0	10,000
雑費	8,000	0	8,000
経常費用計	134,289,000	5,284,000	139,573,000
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 1,006,000	△ 427,000	△ 1,433,000
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 1,006,000	△ 427,000	△ 1,433,000

科 目	当初予算額	補正予算額	予算現額
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			0
固定資産除却損	0	0	0
車両運搬具除却損	0	1,000	1,000
経常外費用計	0	1,000	1,000
当期経常外増減額	0	△ 1,000	△ 1,000
当期一般正味財産増減額	△ 1,006,000	△ 428,000	△ 1,434,000
一般正味財産期首残高	21,866,709	0	21,866,709
一般正味財産期末残高	20,860,709	△ 428,000	20,432,709
II 指定正味財産増減の部			0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	20,860,709	△ 428,000	20,432,709

収支補正予算書に対する注記

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当初予算額	補正予算額	予算現額
【投資活動の部】			
(投資活動収入)			
固定資産売却収入	0	1,000	1,000
車両運搬具売却収入	0	1,000	1,000
敷金・保証金等戻り収入	0	4,000	4,000
預託金戻り収入	0	4,000	4,000
特定資産取崩収入	3,000,000	△ 2,707,000	293,000
固定資産取得資金積立金取崩収入	3,000,000	△ 2,707,000	293,000
投資活動収入計	3,000,000	△ 2,702,000	298,000
(投資活動支出)			
固定資産取得支出	3,000,000	△ 1,746,000	1,254,000
車両運搬具購入支出	1,026,000	0	1,026,000
什器備品購入支出	1,974,000	△ 1,746,000	228,000
敷金・保証金等支出	6,000	1,000	7,000
預託金支出	6,000	1,000	7,000
投資活動支出計	3,006,000	△ 1,745,000	1,261,000
【財務活動の部】			0
(財務活動収入)			0
財務活動収入計	0	0	0
(財務活動支出)			0
財務活動支出計	0	0	0

第 1 号議案

令和 4 年度事業報告及び令和 4 年度決算の
承認並びに監査報告の件

令和 4 年度事業報告及び令和 4 年度決算の承認並びに監査報告について、公益社団法人江田島市シルバー人材センター定款第 43 条第 1 項の規定に基づき、総会の承認を求める。

令和 5 年 5 月 31 日提出

公益社団法人 江田島市シルバー人材センター
理事長 瀬戸本 三 郎

令和4年度 事業報告

はじめに

令和2年1月初旬に日本で初めて感染が確認された新型コロナウイルス感染症は、令和4年度においても、第6波、第7波、第8波と感染拡大が続き、3年間での感染者数は累計で3千100万人に達し、死亡者数は6万2千人に上りました。特に、令和4年12月から令和5年1月までには、1万3千人の死亡者が出る状況にありました。この間、政府は高齢者を中心に5度に亘る予防接種を強力的に実施したことにより、2月以降は沈静化しつつあり、観光面での規制緩和及び外国からの観光客誘致に徐々に移りつつあります。

この状況は、日本経済に大きな好転の機運をもたらすものと期待されています。加えて、政府指導により労働者の賃上げ政策が進みつつあり、大企業等における春闘では満額回答が大きく新聞紙上を占めており、国民にとっても将来への明るい材料となっています。

反面、昨年2月下旬に発生したロシアによるウクライナ侵攻により、世界経済は原油価格の高騰をはじめ、輸入原材料の高騰及び品薄により、国内製品の価格が値上がりし、かつ、鳥インフルエンザのまん延により、卵の品不足による価格高騰は関連企業に大きな影響をもたらし、国民の生活に大きな重しとなっています。

この状況下の中で、我々シルバー人材センターにおきましては、3年連続で定時総会に人数制限を設け、来賓の出席をいただかずに開催することとなりました。

また、会員拡大の柱となるべき「会員拡大・就業開拓部会」及び「女性部会」の活動もコロナ感染拡大の状況下では、大きく制限されていましたが、コロナ感染の状況を見つつ、昨年11月に活動の柱としていた先進地視察として、大竹シルバー人材センターを訪問することができ、部会員及び事務局職員にとって、今後のシルバー事業への取り組みを進めて行く上で、大変有意義な視察となりました。

本年2月に各部会を開催し、視察研修での内容を踏まえ、部会員が自ら、今後の江田島市シルバー人材センターの活性化及び会員拡大を図るための活動を討議し行動に移しつつあることは、大いに評価できるものであり、事務局としても、しっかりとサポートして行く決意であります。

他方、講習会等につきましては、コロナ感染拡大防止の観点から一部開催を中止しましたが、安全教育については、梅口安全・適正就業推進員を中心に、新規加入会員に対し「新規会員草刈作業講習会」を実施するとともに、一般作業従事者全員を対象に草刈作業時の事故防止を目的とした「安全衛生研修会」を実施し安全教育の徹底を図りました。

高齢者が安心して生きがいを持って働ける社会の一翼を担うために、役職員はもとより会員全員が一丸となって更なる創意工夫をしてみたいです。

以下、各事業項目について考察してみました。

1 会員の増強

全国シルバー人材センター事業協会が政府の働き方改革に基づき強力的に進めているシルバー会員「100万人」構想は、コロナ感染症拡大により会員数の減少に歯止めがかからず、その計画は大きく転換することとなり、令和元年度の会員数への復活を目指すこととなりました。

当シルバー人材センターにおいても、新型コロナウイルス感染症感染防止対策を施しながら、随時入会説明会を開くなどして会員獲得に努めましたが、令和4年度末の会員数は199名であり、会員数の減少に歯止めがかからない状況になりました。

このような状況において、今年度は、新型コロナウイルス感染症による影響で各種イベントが中止になったことから、シルバー人材センター事業の周知を図るため、ホームページ、広報誌「きらめき」、事務局だより又は会員の口コミ等により会員の加入促進に努めました。

また、「シルバーの日」奉仕活動時においては、市民が最も利用する小用港及び中町港の周辺施設の清掃等で『幟旗』を掲出するとともに、シルバーネーム入りの安全ジャケットを着用し、元気で働くシルバー人材センターの活動をPRし、会員の拡大に努めました。

2 経営基盤の強化

(1) 持続可能な組織とするため、公益法人会計の運営指針を順守して健全財政に努めてまいりましたが、苦しい経営状態に変わりなく、支出の抑制に極力努め、収入の増加を図っているところです。結果として、本年度は78万円余の黒字決算となりました。

(2) 『特定費用準備資金等取扱規程』により、シルバー人材センターの書庫整備として「固定資産取得資金積立資産」を積み立てていましたが、令和5年10月から施行される「インボイス制度」における財政負担が大きく影響するため、書庫整備を中止し、消費税の財源確保にあてるため「固定資産取得資金」を「消費税納付額増加対策資金」に組替え、財政健全化に努めます。

3 安心・安全作業の徹底

(1) 『安全は日々の意識の積み重ね 近道・抜け道・妥協なし!』のスローガンのもと、安全・適正就業推進員により「安全だより」を毎月発行し、班長会議等を通じ、安全意識の向上と事故の未然防止を徹底しました。

今後も、会員の安全教育を通じて「安全第一」の意識改革に最大限努力を重ねてまいります。

(2) 安全・衛生の重要性に鑑み、7月の「安全衛生講習会」には、中央労働災害防止協会 安全衛生エキスパート兼労働衛生コンサルタントを講師として招聘し、会員への安全教育を図りました。

4 事業実施について

(1) 就業機会の提供

過疎化が進行中の当市において、会員の確保については、令和4年度から始まる「第3次中期事業推進計画」のもと努力していますが、一朝一夕には解決できる事柄ではないので、今後も引き続き尽力してまいります。また、市役所・民間事業所及び個人からの受注については、これを会員の能力・希望職種に応じて請負・委任又は派遣という形態に即した就業制度を提供してまいりました。

特筆すべきものとして

ア 真道山森林公園キャンプ場の指定管理による受託（令和5年度以降も受託）

イ 海岸漂着物清掃業務の市からの受託

ウ 山本倶楽部（旧江田島オリーブ株式会社）からの除草等オリーブ管理業務受託

エ 盆灯ろう作りの実施（独自事業）

オ プレミアム福袋発送業務（市観光協会受注）

カ その他

(ア) ハーフボランティア活動の実施

(イ) 剪定作業従事者等の後継者育成を目的とした講習会

(ウ) 事務局だよりによる就業情報の提供（隔月発行）

(2) 就業機会について

会員の就業満足度の向上及び健康増進を図り、活力ある地域社会構築に寄与し、就業機会開拓のため、次の事業を行いました。

- ア 労働者派遣事業（シルバー派遣事業）の実施
- イ 適正就業（臨・短・軽）の周知徹底
- ウ 未就労会員を抽出し、就労機会を付与

5 就業に必要な知識・技能及び安全・安心作業の実施について

(1) 県連合主催による講習会

- ア 委託事業説明会（オンライン）
令和4年4月22日（金）～4月28日（木） 4名参加
- イ 福祉・家事援助サービス研修会（オンライン）
令和5年1月27日（金）から2月24日（金） 6名参加
- ウ 適正就業担当者会議（オンライン）
令和5年2月7日（火）～2月28日（火） 5名参加

(2) 自主事業による講習会

- ア ハーネス講習会
令和4年4月6日（水） 14名参加
- イ 乗合バス利用実態調査講習会
令和4年6月8日（水） 12名参加
- ウ 第1回新規加入会員刈払機取扱講習会
令和4年6月24日（金） 4名参加
- エ 安全衛生講習会
令和4年7月8日（金） 82名参加
- オ 交通安全講習会
令和4年10月21日（金） 36名参加
- カ 刈払機使用時に於ける損害賠償事故防止講習会
令和4年10月25日（火）・26日（水） 45名参加
- キ 第2回新規加入会員刈払機取扱講習会
令和4年11月25日（金） 6名参加
- ク 剪定講習会
令和5年3月14日（火）～15日（水） 20名参加

6 その他の諸活動

(1) 普及啓発活動

- ア 広報誌「きらめき」の発行（7月1日号、1月1日号）
- イ 全国的に実施される「シルバーの日」奉仕活動の実施（10月第3土曜日）
- ウ ホームページ（<http://etajima-sc.com/>）を活用したPR

エ 生活援助サポート事業（ワンコインサービス・企画提案方式）の継続実施

(2) 安全・適正就業推進活動

ア 受託時に気を付けること

(ア) 適正な受託のためのフローチャート票（県連合発行）活用

(イ) 請負業務の積算勉強会の実施

イ 会員に安全就業の必要性を周知徹底

(ア) 班長会議等を通じて安全衛生教育の徹底

(イ) 班長会議等を通じて適正就業の徹底

(ウ) 班長会議等を通じて物損・人身事故発生報告及び原因分析並びに再発防止のための周知徹底

ウ 就業内容に合わせた安全防護装具（ヘルメット・防護メガネ・防振手袋）等の完全着用義務の推進

エ 就業前の準備運動等実施

オ 安全パトロールの実施及び安全衛生講習会の開催

(ア) 安全委員会委員等による安全パトロールの実施

(イ) 安全衛生講習会の実施

カ ヒヤリハット事例の水平展開と周知徹底

危険個所の抽出及び毎月安全教育の実施

キ 健康診断の受診奨励

日々の健康状態の把握に努め、年1回の定期的な健康診断受診を奨励

7 法人管理事業

(1) 総会及び会議の開催

新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のために、開催は慎重を期すとともに参加者を制限するなどして、総会及び理事会等を定款に定められたものを事業状況のとおり開催しました。しかし、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置の実施期間が長期に亘ったため、各規程等に定められた会員拡大・就業開拓部会、女性部会、安全会議等は一部開催できないものもありました。また、加盟している上部団体が主催する研修会等は、開催がオンライン又は、中止になり参加を見合わせたものもありました。

(2) その他

第2次中期事業推進計画（平成29年～令和3年）の実施状況について点検を行い実施等に検討を加えました。これをもとに、本年度は、新たに第3次中期事業推進計画（令和4年～令和8年）を作成しました。

事業状況

1 就業機会の提供

高齢者の生きがいの充実と福祉の増進を図るとともに、活力ある地域社会づくりに寄与するため、会員にふさわしい地域に密着した仕事を家庭・民間事業所・官公庁から受注し、これを会員に対して、その能力・希望等に応じて請負又は委任、更には派遣という形式により提供しました。

(1) 事業実績の現状

契約件数は、前年度1,899件に対し、1,966件と67件増でした。契約金額では、前年度97,222,867円に対し、6,989,303円増の104,212,170円となりました。

契約金額が対前年度より増額となった主なものは、材料費が対前年度より、2,206,712円の増額となったことが要因となっています。

配分金については、就業延べ人数が前年度から902人増加したことにより、前年度70,896,166円に対し、2,919,100円増の73,815,266円となりました。

(2) 未就業会員の解消、就業会員の増強

就業率は83.4%（派遣のみ就業している会員14名を含む。）となり、前年度の77.3%を上回っています。また、会員数は新入会員14名、退会会員23名で、昨年208名（特別会員2名を含む。）より9名減員の199名になりました。退会の主な理由は、病気8名、加齢3名、自分にあった就業機会等なし1名、他に就職6名、センターへの不満1名、未回答3名、その他1名、であり、自分や家族の病気など健康上の理由等によるもの48%、自分に合った就業機会がなかったり、他へ就職したもの30%で、この2つで全体の78%を占めています。

(3) 就業情報の提供と就業機会の再分配

ア 就業情報の提供

(ア) 事務局だよりによる就業情報（年6回発行）

(イ) 個別連絡による紹介

イ 就業機会の再分配

(ア) 就業のローテーション

(イ) 個別調査による再配分

(4) 新しいシルバー像、多様な就業ニーズの把握

ア 江田島市社会福祉協議会等と協力し、「えたじまの会社紹介フェア」等に積極的に参加し、シルバー人材センターをPRするとともに、新規会員の加入促進に努め、会員の増強を図る予定でしたが、本年度は中止となっております。

イ 理事や一般作業班長等を中心に会員の状況把握、連絡、新規会員の加入促進等、職種に応じた配員に努め、会員の増強を図りました。

ウ 班長会議等を通じて、新規会員の加入促進の必要性と現状説明を実施し、多様な就業ニーズの促進を図りました。

(5) 会員の活性化

水みらい株式会社に関連した業務を継続受注するに当たり、本年度において請負業務から派遣業務に変更となったことから、派遣労働会員講習会を実施し、派遣労働会員の育成、会員の補充、機能強化等を図りました。

(6) 女性会員の入会促進

4名の新規会員が入会されたものの、病気等を理由に6名が退会され、現会員数は45名になり2名減となりました。

(7) 地域社会への貢献

ア 地域社会と連携し、期待される役割を果たしました。（生活援助サポート事業：ワンコインサービス・企画提案方式）実績件数：1,142回

イ 継続事業として、江田島湾等における海岸漂着物等清掃業務を市から請負、4月から2月までの間実施し、78,600kgの漂着物を回収しました。

(8) 真道山森林公園キャンプ場管理業務（指定管理制度）

(9) 盆灯籠づくり（独自事業）は、延べ人員248名で、1,231本製作しました。

2 雇用による就業

会員の生きがいの充実と福祉の増進を図るとともに、活力ある地域社会づくりに寄与するため就業機会の提供を行いました。

(1) 労働者派遣事業（シルバー派遣事業）の推進

ア 高齢者の知識や経験を活かした多様な就業機会の確保に努めましたが、江田島市地域支援課からの犬猫搬送業務、地域包括支援センターの運転業務、(株)ベストナビからの沖美マンション別荘清掃業務を受注するとともに、本年度から水みらい(株)からの浄水場管理業務を請負から派遣に契約変更しました。

その結果、契約数 12 件、契約金額 11,293,697 円と対前年より、件数で 3 件増、契約金額は 3,618,047 円の増額となりました。

イ 適正就業の推進

(ア) シルバー人材センター事業の適正かつ効果的な運営

(イ) 「臨時的かつ短期的な就業」又は「その他の軽易な業務に係る就業」の範囲において行うよう努力しました。

(2) 職業紹介事業

適正就業に沿って会員の就業・雇用を第一に考慮し、職業紹介を推進しました。

3 就業に必要な知識及び技能を付与するための講習

地域での就業に適した仕事が存在していても、それを行うために必要な能力が会員の有する技能、経験によりカバーされていないものであった場合には、実際の就業に結びつかないことがあるため、就業上必要な技能、知識を就業意欲のある会員に付与することが必要です。

就業に必要な知識及び技能を付与するための講習を実施し、実際の就業に結びつけるとともにより広い就業分野での仕事の確保と提供を行い、会員の生きがいの充実と福祉の向上を図り、活力ある地域社会づくりに貢献しました。

就業機会確保の一環として、県連合主催の福祉・家事援助サービス研修会(オンライン)に6名の会員が参加しました。

加えて、当シルバー人材センターの独自事業として、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止策を講じた上で安全衛生講習会を実施しました。

今回は、外部講師として中央労働災害防止協会から講師を招へいし、多くの会員が参加しました。

職員による安全衛生講習会として「刈払機使用時に於ける損害賠償事故防止講習会」を実施するとともに、新規加入会員を対象として「刈払機取扱講習会」を年2回実施しました。

更に、交通安全講習会についても、感染防止対策を万全に行い、講師を招へいし実施しました。

剪定講習会については、コロナ感染状況を見据え、シルバー人材センターを

広く市民の方に知っていただく普及啓発活動を含めて実施した結果、9名の市民の方々の参加を得ることができました。

- (1) 第1回 新規加入会員への刈払機取扱講習会
令和4年6月24日（金） 4名参加
- (2) 安全衛生講習会（江田島コミュニティセンター）
令和4年7月8日（金） 82名参加
- (3) 交通安全講習会（江田島市シルバーワークプラザ）
令和4年10月21日（金） 36名参加
- (4) 安全衛生講習会（刈払機使用時に於ける損害賠償事故防止）
令和4年10月25日（火）・26日（水） 45名参加
- (5) 第2回 新規加入会員への刈払機取扱講習会
令和4年11月25日（金） 6名参加
- (6) 剪定講習会
令和5年3月14日（火）・15日（水） 20名参加

コロナ感染状況を見据えつつ、慢性的に技術者不足の剪定講習会を広報誌等に掲載し、会員及び広く一般市民に参加を呼びかけ併せて会員の募集も実施した。

4 社会参加を推進するための諸活動

(1) 普及啓発活動

ア 広報誌「きらめき」の発行（7月1日号、1月1日号）

イ 「シルバーの日」ボランティア活動 69名参加 令和4年10月15日（土）
実施

ウ 各種イベントへの参加

今年度は、昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症感染防止のため、例年互助会が参加している各種イベントが中止になり、シルバー人材センターの普及啓発活動に支障がでました（中止されたイベント：ふれあい産業まつり、オータムフェスタ江田島、江田島カキ祭り）。

エ ホームページ（<http://etajima-sc.com>）を活用したPR

オ 事務局だよりの発行（奇数月：年6回）

カ 生活援助サポート事業（ワンコインサービス・企画提案方式）

キ 環境保全美化推進事業（剪定・枝葉チップリサイクル事業）

(ア) チップ化した製品を江田島市シルバーワークプラザの窓口等で市民に配布

(イ) 自治会等と連携し、「花いっぱい運動」の土壌改良剤として提供

- (ウ) 農地の土壌改良として多くの市民に提供
- (エ) カブト虫の育成・桜チップの製造、提供
- (オ) 薪を製作し、真道山キャンプ場及び一般へ提供
- (カ) 年間処理量：112,860 kg
- (キ) すべての法規制に適合した構造基準適合型焼却炉による 100%天然木灰の提供（令和元年度からの構造基準適合型焼却炉の導入により、「市民等の枝木の伐採→薪・チップ・薪にもチップにも出来ないものは天然木灰→薪、チップ、堆肥として市民等へ提供」という完全リサイクル体制が整いました。）

(2) 安全・適正就業推進活動

ア 会員に安全就業の必要性を徹底

- (ア) 一般作業班を対象に年 12 回（令和 4 年 8 月は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止とし、文書送付）の一般作業班長連絡会議及び年 2 回開催の班長会議等を通して、安全・適正就業推進員を中心に安全就業の必要性を周知徹底

- (イ) 物損、人身事故防止及びその原因分析、報告書の提出、保険による費用弁償の実施

- (ウ) 安全用具の着用義務（ヘルメット及び雑木伐採作業時のチャップス着用の徹底）

イ 就業内容に合わせた防護装具の整備

ウ 就業前打合せ

就業する前には、就業に関する事前打ち合わせの実施

エ 安全パトロールの実施、安全衛生講習会の開催

- (ア) 安全パトロール年 3 回、安全委員会年 2 回開催

- (イ) 安全衛生講習会

本年度は、外部講師として、中央労働災害防止協会から講師を招いて安全衛生講習会を実施しました。

オ 健康診断の受診推進

“自分の健康は自分で守る”を合言葉に、日々の健康状況の把握に努め、年 1 回は健康診断を受けるよう広報誌や班長会議等を通じて推進

カ ヒヤリハット事例を含めた安全教育を班長会議等で実施

キ 熱中症予防策及び有毒動植物に対する応急処置等を班長会議等で紹介

ク AED の点検及び使用方法の確認

会議等の状況

1 会議

会議名	開催日等 (場所)	内 容
総 会	<p style="text-align: center;">定時総会 R 4 . 5 . 2 7 (江田島コミュニティーセンターを 変更し、江田島市シルバーワークプラザ)</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 令和3年度事業報告及び令和3年度決算の承認並びに監査報告の件 2 理事長に対する権限委任の承認の件 3 令和4年度事業計画の件 4 令和4年度収支予算並びに令和4年度資金調達及び設備投資の見込みの件
理 事 会	<p style="text-align: center;">第1回 (臨時) R 4 . 4 . 2 1 (ワークプラザ)</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 令和4年2月24日執行の懲戒処分について 2 理事長の役員報酬1か月分の自主返納について 3 その他
	<p style="text-align: center;">第2回 R 4 . 5 . 1 0 (ワークプラザ)</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 令和3年度事業報告及び令和3年度決算の承認並びに監査報告の件 2 理事長に対する権限委任の承認の件 3 令和4年度定時総会招集日時、場所等の決定の件 4 新規加入会員の承認の件 5 職務の執行状況報告の件 6 公益社団法人江田島市シルバー人材センター年間実績・予定表について 7 その他
	<p style="text-align: center;">第3回 (臨時) R 4 . 6 . 1 0 (ワークプラザ)</p>	<p>常務理事及び事務局長の解職の承認の件</p>
	<p style="text-align: center;">第4回 R 4 . 6 . 2 4 (書面決議)</p>	<p>新規加入会員の承認</p>
	<p style="text-align: center;">第5回 R 4 . 7 . 2 2 (書面決議)</p>	<p>新規加入会員の承認</p>

会議名	開催日等 (場所)	内容
理事会	第6回 R4.8.25 (ワークプラザ)	1 令和4年度収支補正予算(第1号)(案)の件 2 再雇用職員給与規程の一部を改正する規程(案)の件 3 重要な職員の任命の承認について(案)の件 4 新規加入会員の承認の件 5 1/四半期予算及び業務執行状況監査報告の件 6 職務の執行状況報告の件 7 令和4年度公益社団法人全国シルバー人材センター事業協会定時総会決議に係る要請行動の件 8 その他
	第7回 R4.9.26 (書面決議)	新規加入会員の承認
	第8回 R4.11.24 (ワークプラザ)	1 権利放棄の件 2 令和4年度収支補正予算(第2号)(案)の件 3 事務費率改定について(案)の件 4 理事長・副理事長の報酬月額の設定について(案)の件 5 新規加入会員の承認の件 6 2/四半期予算及び業務執行状況監査報告の件 7 職務の執行状況報告の件 8 インボイス制度の施行に伴うシルバー人材センターの健全財政運営について 9 その他
	第9回 R4.12.21 (書面決議)	新規加入会員の承認の件
	第10回 R5.1.11 (書面議決)	児童夏休みミニキャンプ(仮称)事業実行委員会設置要綱(案)の承認の件

会 議 名	開 催 日 等 (場 所)	内 容
理 事 会	第 11 回 R 5 . 3 . 2 2 (ワークプラザ)	1 特定資産取得資金の組替えの承認の件 2 令和 4 年度収支補正予算 (第 3 号) (案) の件 3 配分金見積基準の改定 (案) の件 4 役員の報酬等及び費用弁償に関する規程の一部を改正する規程 (案) の件 5 嘱託職員の就業規則の一部を改正する規則 (案) の件 6 嘱託職員の給与規程の一部を改正する規程の (案) 7 重要な職員の任命の承認について 8 役員等賠償責任保険契約等の件 9 令和 5 年度事業計画 (案) の件 10 令和 5 年度収支予算 (案) 並びに令和 5 年度資金調達及び設備投資の見込みの件 11 新規加入会員の承認の件 12 3 / 四半期予算及び業務執行状況監査報告の件 13 その他
	第 12 回 R 5 . 4 . 6 (書面決議)	新規加入会員の承認の件
監 査 等	R 4 . 5 . 2 (ワークプラザ)	令和 3 年度監査
	R 4 . 7 . 2 9 (ワークプラザ)	1 / 四半期監査
	R 4 . 1 0 . 1 9 (ワークプラザ)	2 / 四半期監査
	R 5 . 1 . 2 7 (ワークプラザ)	3 / 四半期監査
会員拡大・ 就業開拓部会	第 1 回 R 4 . 7 . 2 7 (ワークプラザ)	第 1 回会員拡大・就業開拓部会 1 あいさつ (1) 理事長あいさつ (2) 部会長あいさつ 2 部会員自己紹介 3 部会長及び副部会長互選 4 会員拡大推進員及び就業開拓推進員の選任 5 第 3 次事業推進計画の概要について (会員の現状について)

会 議 名	開 催 日 等 (場 所)	内 容
会員拡大・ 就業開拓部会	第1回 R 4 . 7 . 2 7 (ワークプラザ)	6 先進地視察について 7 部会活動について (自由意見)
	R 4 . 1 1 . 1 7 (大竹市シルバ ー人材センター)	先進地視察研修 1 会員加入状況・会員募集の PR 手法 2 就業開拓の現状及び活動における問題点
	第2回 R 5 . 2 . 1 6 (ワークプラザ)	第2回会員拡大・就業開拓部会 1 あいさつ (1)理事長あいさつ (2)部会長あいさつ 2 先進地視察報告 3 会員拡大推進員活動報告 4 部会活動について (自由意見)
女 性 部 会	第1回 R 4 . 7 . 2 1 (ワークプラザ)	第1回女性部会 1 理事長あいさつ 2 部会員自己紹介 3 部会長及び副部会長互選 4 女性会員の現状について 5 第3次事業推進計画の概要について 6 先進地視察について 7 部会活動について (自由意見)
	R 4 . 1 1 . 1 7 (大竹シルバー人 材センター)	先進地視察研修 1 女性会員の加入状況及び加入促進の PR 手 法 2 女性会員の活動状況及び取り組み
	第2回 R 5 . 2 . 9 (ワークプラザ)	第2回女性部会 1 あいさつ (1) 理事長あいさつ (2) 部会長あいさつ 2 先進地視察報告 3 女性会員の現状について 4 部会活動について (自由意見)
安全委員会	R 4 . 4 . 6 (ワークプラザ)	墜落制止用器具使用方法等の講習会
	R 4 . 6 . 2 4 (ワークプラザ)	第1回刈払機取扱作業安全衛生講習会 (新規加入会員・未受講者)
	R 4 . 7 . 1 3 (ワークプラザ)	第1回安全委員会 1 令和4年度安全委員会計画について

会 議 名	開 催 日 等 (場 所)	内 容
安全委員会	R 4 . 7 . 1 3 (ワークプラザ)	(1) 2022年度安全衛生管理推進計画について (2) 派遣会員の朝の就業途中、交差点右折車との衝突 (3) 過去4年間の事故・災害及び賠償・傷害発生状況 (4) 2022年度安全委員行事予定 (5) 各種安全講習会及び研修会実施報告 2 その他
	R 4 . 7 . 8 (江田島コミュニティセンター)	第1回安全衛生講習会
	R 4 . 7 . 2 7 (作業現場)	安全パトロール (理事長、安全委員長、安全委員、業務担当職員、安全・適正就業推進員)
	R4.10.25・26 (ワークプラザ)	第2回安全衛生講習会
	R 4 . 1 1 . 2 5 (ワークプラザ)	第2回刈払機取扱作業安全衛生講習会 (新規加入会員・未受講者)
	R 4 . 1 2 . 9 (作業現場)	安全パトロール (理事長、安全委員長、安全委員、業務担当職員、安全・適正就業推進員)
	R 5 . 2 . 2 0 (作業現場)	安全パトロール (安全委員、業務担当職員、安全・適正就業推進員)
	R 5 . 3 . 1 0 (ワークプラザ)	第2回安全委員会議 1 2022年度安全衛生取組み纏め (1) 2022年度安全衛生管理推進計画総括について (2) 2022年度事故・災害発生状況について (3) 2022年度安全衛生パトロール結果報告 (4) 2022年度各種安全講習会及び研修会実施報告 (5) 2023年度安全標語・交通事故防止・健康等のスローガン選考 2 その他
広報委員会	第1回 R 4 . 6 . 7 (ワークプラザ)	1 委員長あいさつ 2 シルバー江田島「きらめき」第60号の掲載記事について 3 その他

会 議 名	開 催 日 等 (場 所)	内 容
広 報 委 員 会	第 2 回 R 4 . 7 . 2 8 (ワークプラザ)	1 委員長あいさつ 2 シルバー江田島「きらめき」第 60 号の合評 について 3 シルバー江田島「きらめき」第 61 号の掲載 記事について 4 その他
	第 3 回 R 4 . 1 2 . 1 (ワークプラザ)	1 委員長あいさつ 2 シルバー江田島「きらめき」第 61 号掲載 記事について 3 その他
	第 4 回 R 5 . 1 . 3 0 (ワークプラザ)	1 委員長あいさつ 2 シルバー江田島「きらめき」第 61 号掲載 記事について 3 シルバー江田島「きらめき」第 62 号掲載 記事について 4 その他
班 長 会 議	第 1 回 R 4 . 4 . 2 0 (ワークプラザ)	1 理事長年度初頭あいさつ 2 議 題 (1) 安全衛生関係 ア 令和 4 年度安全衛生管理推進計画の 取組みについて イ 令和 4 年 5 月の「安全だより」 ウ 3 月分 全シ協 安全就業ニュース エ チェンソーによる伐木等作業の安全 に関するガイドライン オ 5 月 13 日から道路交通法施行令改正 について カ 生命維持に欠かせない脳幹の構造と はたらき (2) 請負関係 チップの搬入について (3) 質疑応答及び意見・要望について 3 その他
	第 7 回 R 4 . 1 0 . 2 1 (ワークプラザ)	議 題 1 安全衛生関係 (1) 令和 4 年 11 月の安全だより (2) 9 月分 全シ協 安全就業ニュース (3) 草刈り中に失明した男性に和解金 (4) 重篤事故の発生について

会 議 名	開 催 日 等 (場 所)	内 容
班 長 会 議	第 7 回 R 4 . 1 0 . 2 1 (ワークプラザ)	(5) 作業員がチェーンソーで負傷 (6) マダニ感染症防止とスズメバチ刺され 2 請負関係 年内作業計画について 3 意見・要望及び質疑応答について 4 その他
一般作業班長 連絡会議	第 1 回 R 4 . 4 . 2 0 (ワークプラザ)	1 理事長年度初頭あいさつ 2 議 題 (1) 安全衛生関係 ア 令和 4 年度安全衛生管理推進計画の取 組みについて イ 令和 4 年 5 月の「安全だより」 ウ 3 月分 全シ協 安全就業ニュース エ チェンソーによる伐木等作業の安全に 関するガイドライン オ 5 月 13 日から道路交通法施行令改正 について カ 生命維持に欠かせない脳幹の構造と はたらき (2) 請負関係 チップの搬入について 3 意見・要望及び質疑応答について 4 その他
	第 2 回 R 4 . 5 . 2 0 (ワークプラザ)	議 題 1 安全衛生関係 (1) 令和 4 年 6 月の安全だより (2) 転落災害防止について (3) 4 月分 全シ協 安全就業ニュース (4) チェンソー取扱い使用時の注意事項 (5) 事故は他人事 (6) 貝毒の症状は？アサリ・ハマグリ・ホ タテの食中毒リスク 2 請負関係 作業内容の係数について 3 意見・要望及び質疑応答について 4 その他

会 議 名	開 催 日 等 (場 所)	内 容
一般作業班長 連絡会議	第 3 回 R 4 . 6 . 1 7 (ワークプラザ)	<p>議 題</p> <p>1 安全衛生関係</p> <p>(1) 令和 4 年度 7 月の安全だより</p> <p>(2) 5 月分 全シ協 安全就業ニュース</p> <p>(3) 令和 4 年度安全・適正就業強化月間実施</p> <p>(4) 夏季の事故・災害防止について</p> <p>(5) 刈払機取扱作業安全衛生教育実施の件</p> <p>(6) 年間死亡者数 1,000 人超！もはや日本の猛暑は自然災害だ</p> <p>2 請負関係について 梅雨時期の作業計画について</p> <p>3 意見・要望及び質疑応答</p> <p>4 その他</p>
	第 4 回 R 4 . 7 . 2 2 (ワークプラザ)	<p>議 題</p> <p>1 安全衛生関係</p> <p>(1) 令和 4 年 8 月「安全だより」</p> <p>(2) 6 月分 全シ協 安全就業ニュース</p> <p>(3) 県連 令和 3 年度事故発生状況の分析</p> <p>(4) マダニ特集</p> <p>(5) 屋外では「マスク外して」＝熱中症予防</p> <p>(6) 新型コロナ『BA. 5』肺で増えやすい</p> <p>2 請負業務について “真夏の作業上の注意事項”</p> <p>3 意見・要望及び質疑応答</p> <p>4 その他</p>
	第 5 回 R 4 . 8 . 2 6 中 止 (書面送達)	<p>※ <u>新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため会議は中止し、4. 8. 23 関係班長に文書送付とした。</u></p> <p>1 安全衛生関係</p> <p>(1) 令和 4 年度 9 月の安全だより</p> <p>(2) 7 月分 全シ協 安全就業ニュース</p> <p>(3) 住民からの苦情について</p>

会 議 名	開 催 日 等 (場 所)	内 容
一般作業班長 連絡会議	第 5 回 R 4 . 8 . 2 6 中 止 (書面送達)	(4) 当センターの災害・事故発生状況 2 件 報告 (5) 広島市 案内業務のシルバー会員死亡 (6) 草刈機に接触「足がきれた！」 (7) ガソリン携行缶の取扱いに注意
	第 6 回 R 4 . 9 . 1 6 (ワークプラザ)	1 安全衛生関係 (1) 令和 4 年度 10 月の安全だより (2) 8 月分 全シ協 安全就業ニュース (3) 市民からの苦情について (4) 当センターの災害・事故発生状況 2 件 報告 (5) 広島市 案内業務のシルバー会員死亡 (6) 草刈機に接触「足がきれた！」 (7) ガソリン携行缶の取扱いに注意 2 請負業務について “リレーセンターへのごみ搬入の協力要 請” について 3 意見・要望及び質疑応答 4 その他
	第 7 回 R 4 . 1 0 . 2 1 (ワークプラザ)	議 題 1 安全衛生関係 (1) 令和 4 年 11 月の安全だより (2) 9 月分 全シ協 安全就業ニュース (3) 草刈り中に失明した男性に和解金 (4) 重篤事故の発生について (5) 作業員がチェンソーで負傷 (6) マダニ感染症防止とスズメバチ刺され 2 請負関係 年内作業計画について 3 意見・要望及び質疑応答について 4 その他
	第 8 回 R 4 . 1 1 . 1 8 (ワークプラザ)	議 題 1 安全衛生関係 (1) 令和 4 年 12 月の安全だより (2) 10 月分 全シ協 安全就業ニュース (3) 事故多発のシルバー人材センター 平均 74 歳 (4) 高齢男性が木の下敷きにより、警察な どが死亡確認

会 議 名	開 催 日 等 (場 所)	内 容
一般作業班長 連絡会議	第 8 回 R 4 . 1 1 . 1 8 (ワークプラザ)	(5) 高齢者雇用安定法の改正と 70 歳現役時代の到来 (6) 令和 4 年 (5 月から 9 月) の熱中症による救急搬送状況 2 請負関係 刈草のごみ処分について 3 意見・要望及び質疑応答について 4 その他
	第 9 回 R 4 . 1 2 . 1 6 (ワークプラザ)	1 副理事長年末あいさつ 2 議 題 (1) 安全衛生関係 ア 令和 5 年 1 月「安全だより」 イ 11 月分 全シ協安全就業ニュース ウ 日常生活における転倒予防の必要性 エ インボイス制度がシルバー人材センターに導入されたらどうなるの？ オ 伐採作業安全マニュアル カ お風呂の温度適温？「熱めなほど温まって健康にいい」は本当か (2) 請負業務について 車両の点検・手入れについて 3 意見・要望及び質疑応答 4 その他
	第 10 回 R 5 . 1 . 2 0 (ワークプラザ)	1 理事長年始あいさつ 2 議題 (1) 安全衛生関係 ア 令和 5 年 2 月「安全だより」 イ 12 月分 全シ協安全就業ニュース ウ 就業現場の安全対策の徹底について エ 山側斜面の立木伐採中に落ちて来た岩石が直撃した死亡事例 オ チェンソーによる事故について カ 除草・草刈りによる事故事例 キ 冬に最適なウォームアップは？ 3 請負業務について チップヤード搬入について 4 意見・要望及び質疑応答 5 その他

会 議 名	開 催 日 等 (場 所)	内 容
一般作業班長 連絡会議	第 11 回 R 5 . 2 . 1 7 (ワークプラザ)	<p>議 題</p> <p>1 安全衛生関係</p> <p>(1) 令和 5 年 3 月の安全だより</p> <p>(2) 1 月分 全シ協安全就業ニュース</p> <p>(3) 鹿田公園内伐採作業中、倒木がフェンスに当たり破損事故</p> <p>(4) 立木の枝条取付け作業中、急斜面を墜落死亡事例</p> <p>(5) 傾斜地で伐採中、立木が裂け上がり作業者の激突死亡事例</p> <p>(6) 生活習慣病治療の目標 一疫学研究の結果から</p> <p>(7) 広島県自転車条例制定について</p> <p>2 請負業務 バッテリーカバーの取扱いについて</p> <p>3 意見・要望及び質疑応答</p> <p>4 その他</p>
	第 12 回 R 5 . 3 . 2 2 (ワークプラザ)	<p>1 理事長年度末のあいさつ</p> <p>2 議 題</p> <p>(1) 安全衛生関係</p> <p>ア 令和 5 年 4 月の安全だより</p> <p>イ 2 月分 全シ協安全就業ニュース</p> <p>ウ 令和 4 年度安全衛生推進計画総括について</p> <p>エ 樹木剪定作業中、枝から転落し受傷災害報告</p> <p>オ 三脚脚立及び梯子等廃却、整備について</p> <p>カ 令和 5 年度 標語選考結果について</p> <p>キ 生活習慣病の現在</p> <p>(2) 請負業務 市の補助事業の取扱いについて</p> <p>3 意見・要望及び質疑応答</p> <p>4 その他</p>
職員懲戒審査 委員会	R 4 . 4 . 1 5 (ワークプラザ)	<p>1 委員長あいさつ</p> <p>2 令和 4 年 2 月 24 日執行の懲戒処分について</p> <p>3 その他</p>

会 議 名	開 催 日 等 (場 所)	内 容
入会説明会	毎月 第2火曜日 (ワークプラザ・支所)	新規加入会員希望者への説明 指定日以外にも随時実施
研 修 会	R 4 . 6 . 20 (広島市)	県連合定時総会
	R 4 . 6 . 2 3 (書面決議)	全シ協定時総会
	R4. 8. 15～28 (オンライン)	会員拡大・就業開拓担当者会議
	R 4 . 9 . 3 0 (広島市)	県連合理事長会議・研修会
	R4. 10. 17～30 (オンライン)	適正就業担当者会議 (オンライン)
	R4. 10. 30 ～ 11. 1 (岡山市)	令和4年度 役職員研修会
	R5. 1. 27～2. 24 (オンライン)	福祉・家事援助サービス研修会(オンライン)
	R5. 1. 30～2. 17 (オンライン)	安全就業指導員会議 (オンライン)
	R5. 2. 7～2. 9 (東京都)	令和4年度中堅職員研修
	R5. 2. 7～28 (オンライン)	適正就業担当者会議 (オンライン)
	R5. 3. 3～24 (オンライン)	シルバー事業情報交換会議 (オンライン)
講 習 会	R 4 . 6 . 8 (ワークプラザ)	乗合バス利用実態調査講習会
	R 4 . 6 . 2 4 (ワークプラザ)	第1回刈払機取扱講習会
	R 4 . 7 . 8 (江田島コミュニティセンター)	安全衛生講習会
	R 4 . 1 0 . 2 1 (ワークプラザ)	交通安全講習会
	R4. 10. 25～26 (ワークプラザ)	刈払機使用時に於ける損害賠償事故防止講習会

会 議 名	開 催 日 等 (場 所)	内 容
講 習 会	R 4 . 1 1 . 2 5 (ワークプラザ)	第 2 回刈払機取扱講習会
	R 5 . 3 . 1 4 ~ 1 5 (ワークプラザ) (前早世)	剪定講習会

2 広報活動

広 報 名 称	発 行 日	内 容
シルバー江田 島 「きらめき」 (広 報 誌)	R 4 . 7 . 1	第 6 0 号発行「きらめき」
	R 5 . 1 . 1	第 6 1 号発行「きらめき」
全 シ 協 (機 関 紙)	毎 月 発 行	月刊シルバー人材センター
	随 時	リーフレット、ポスター
県 連 合 (普及啓発資料)	随 時	リーフレット、ポスター
事務局だより	奇数月に発行	第 5 9 号～第 6 4 号発行

3 その他

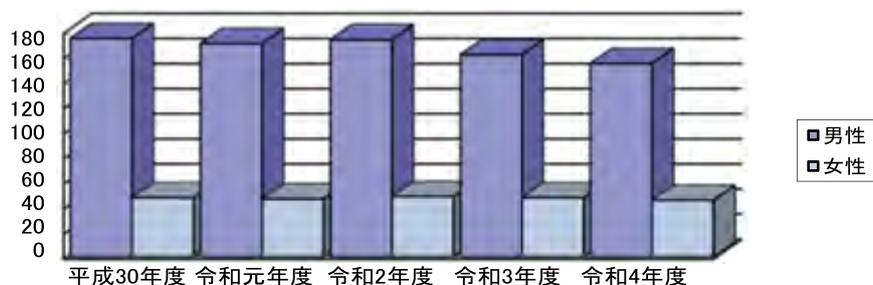
名 称	開 催 日	内 容
互 助 会 活 動	R 4 . 4 . 2 4	第 1 回互助会幹事会
	R 4 . 1 0 . 1 6	ふれあい産業まつり (中止)
	R 4 . 1 0 .	江田島湾海上花火大会 (中止)
	R 4 . 1 0 . 2 8	第 2 回互助会幹事会
	R 4 . 1 2 . 3	グランドゴルフ大会
	R 5 . 2 . 5	江田島カキ祭り (中止)

4 会員の現状 (令和5年3月31日)

(1) 会員数

(単位：人)

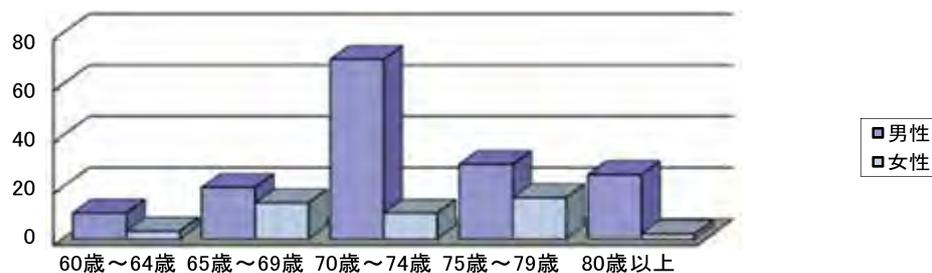
区 分	男	女	計
平成30年度	174	47	221
令和元年度	170	46	216
令和2年度	173	48	221
令和3年度	161	47	208
令和4年度	154	45	199



(2) 年齢別構成状況

(単位：人)

年齢 性別	年齢					計	男女比 (%)
	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80歳以上		
男	10	20	70	29	25	154	77.4
女	3	14	10	16	2	45	22.6
計	13	34	80	45	27	199	100.0
年齢別 比率(%)	6.5	17.1	40.2	22.6	13.6	100.0	100.0

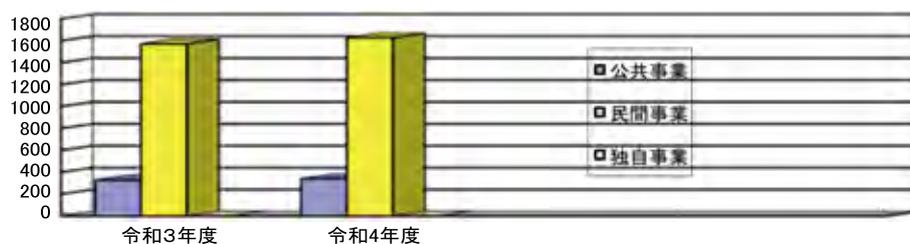


5 事業実績

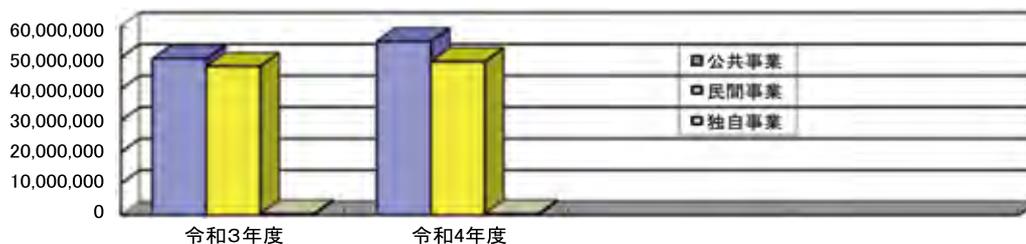
(1) 契約高及び公共と民間の割合

区 分	受注件数 (件)・割合 (%)				契約高 (円)・割合 (%)			
	令和3年度		令和4年度		令和3年度		令和4年度	
公共事業	327	17.2	339	17.2	49,589,163	51.0	55,083,000	52.9
民間事業	1,571	82.7	1,626	82.7	47,204,254	48.6	48,698,320	46.7
独自事業	1	0.1	1	0.1	429,450	0.4	430,850	0.4
計	1,899	100.0	1,966	100.0	97,222,867	100.0	104,212,170	100.0

受注件数



契約金額



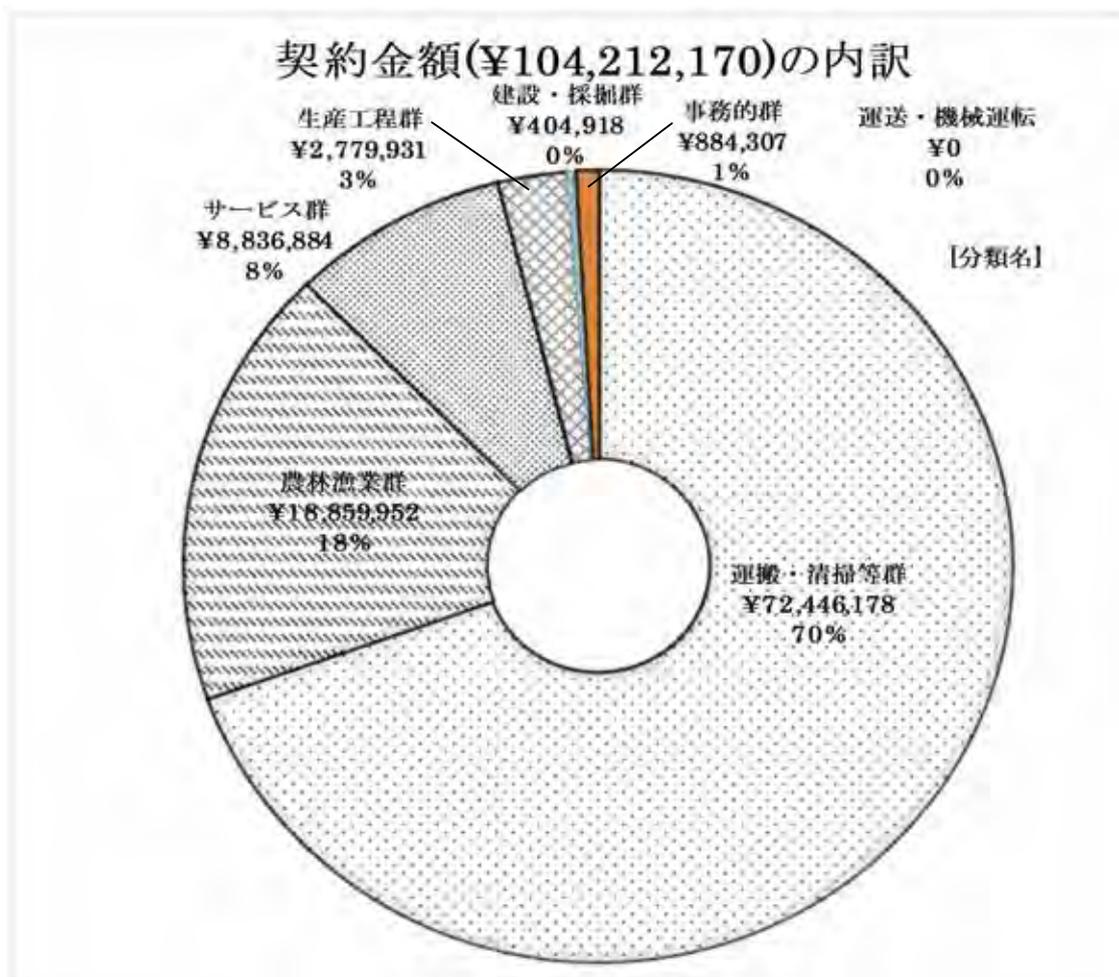
(2) 配分金及び就業延べ人員数調べ

(単位：千円・人日)

事業別配分金				事業別就業延人員			
公共	民間	独自	計	公共	民間	独自	計
38,905	34,643	267	73,815	7,523	7,651	248	15,422

(3) 職群別事業実績

職 群	受注件数 (件)	就業延人 員(人日)	配 分 金 (円)	材 料 費 等 (円)	事 務 費 (円)	合 計 (円)
事 務 的	5	109	732,156	1,345	150,806	884,307
サ ー ビ ス	46	2,071	7,089,659	12,107	1,735,118	8,836,884
農 林 漁 業	491	2,117	13,741,487	2,181,980	2,936,485	18,859,952
生 産 工 程	133	401	1,615,323	859,607	305,001	2,779,931
運 送 ・ 機 械 運 転	0	0	0	0	0	0
建 設 ・ 採 掘	24	32	244,125	111,654	49,139	404,918
運 搬 ・ 清 掃 等	1,267	10,692	50,392,516	10,285,697	11,767,965	72,446,178
合 計	1,966	15,422	73,815,266	13,452,390	16,944,514	104,212,170



(4) 令和4年度事故発生状況

番号	発生年月日(曜) (時刻)	保険金 支払額等	事故の概要	事故原因
1	R4. 5. 18(水) (6:50)	0円 (自己負担)	派遣会員、通勤時、対向車と衝突	安全確認不足
2	R4. 7. 27(水) (11:20)	9,000円 (傷害保険)	現地見積同行時、里道狭隘部から転落し打撲負傷	周囲の安全確認不足 ※ ヒューマンエラー
3	R4. 8. 2(火) (時間不明)	5,500円 (損害賠償)	草刈り作業中、飛石により墓石中台の角部破損	安全対策の不足 防護ネット、合板等の未使用 ※ ヒューマンエラー
4	R4. 9. 8(木) (10:30頃)	152,174円 (損害保険適用)	草刈り作業中、飛石により駐車中の軽ワゴンのフロントガラス破損	防護ネットを使用していたが想定外に飛散 ※ ヒューマンエラー
5	R4. 10. 17(月) (08:40)	55,400円 (自己負担)	草刈り作業中、刈刃が異物にあたり、民家の窓ガラスを破損(ペアガラス)	防護ネット展張 想定外への飛散 事前の状況調査不足 ※ ヒューマンエラー
6	R5. 1. 26(木) (11:00頃)	112,459円 (損害賠償)	鹿田公園内クヌギの木を伐採中、テニス練習場フェンス破損	伐採作業計画の不十分 伐採方向の予知不足 ※ ヒューマンエラー
7	R5. 3. 8(水) (12:45頃)	未定 (傷害保険適用)	江田島中央公園内の樹木剪定作業中、枝切り鋏を手に持って、高さ3.6mから転落し、胸椎骨折	手にもって昇降、高所作業時に転落防止器具を使用していない ※ ヒューマンエラー

貸借対照表
令和5年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	9,611,774	9,715,997	△ 104,223
未収金	7,146,681	5,333,487	1,813,194
前払金	116,540	116,540	0
流動資産計	16,874,995	15,166,024	1,708,971
2 固定資産			
(1) 特定資産			
固定資産取得資金積立資産	0	3,000,000	△ 3,000,000
消費税納付額増加対策資金積立金	2,707,000	0	2,707,000
特定資産計	2,707,000	3,000,000	△ 293,000
(2) その他固定資産			
土地	7,200,000	7,200,000	0
建物	620,908	713,583	△ 92,675
車両運搬具	1,486,664	1,078,062	408,602
什器備品	954,324	1,284,474	△ 330,150
電話加入権	167,272	167,272	0
預託金	102,790	101,810	980
その他の固定資産計	10,531,958	10,545,201	△ 13,243
固定資産計	13,238,958	13,545,201	△ 306,243
資産合計	30,113,953	28,711,225	1,402,728
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	7,091,428	6,524,017	567,411
預り金	375,511	320,499	55,012
流動負債計	7,466,939	6,844,516	622,423
2 固定負債			
固定負債計	0	0	0
負債合計	7,466,939	6,844,516	622,423
III 正味財産の部			
1 指定正味財産	0	0	0
(うち、基本財産への充当額)	(0)	(0)	0
(うち、特定資産への充当額)	(0)	(0)	0
2 一般正味財産	22,647,014	21,866,709	780,305
(うち、基本財産への充当額)	(0)	(0)	0
(うち、特定資産への充当額)	(2,707,000)	(3,000,000)	△ 293,000
正味財産合計	22,647,014	21,866,709	780,305
負債及び正味財産合計	30,113,953	28,711,225	1,402,728

正味財産増減計算書
令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受託事業収益	104,212,170	97,222,867	6,989,303
受取配分金	73,815,266	70,896,166	2,919,100
受取材料費等	13,452,390	11,245,678	2,206,712
受取事務費	16,944,514	15,081,023	1,863,491
指定管理事業等受託収益	2,720,490	2,468,220	252,270
指定管理事業等受託収益	2,720,490	2,468,220	252,270
労働者派遣事業等受託収益	1,271,043	665,100	605,943
労働者派遣事業等受託収益	1,271,043	665,100	605,943
受取会費	394,000	427,000	△ 33,000
正会員受取会費	376,000	416,000	△ 40,000
ゴールド会員受取会費	17,000	10,000	7,000
特別会員受取会費	1,000	1,000	0
受取補助金等	31,134,800	31,396,000	△ 261,200
受取連合交付金	14,339,000	14,339,000	0
受取地方公共団体補助金	16,795,800	17,057,000	△ 261,200
特定資産運用益	43	40	3
特定資産受取利息	43	40	3
雑収益	324,998	164,783	160,215
受取利息	101	90	11
受取保険金	270,133	73,700	196,433
雑収益	54,764	90,993	△ 36,229
経常収益計	140,057,544	132,344,010	7,713,534
(2) 経常費用			
事業費	137,185,708	130,275,879	6,909,829
支払配分金	73,815,266	70,896,166	2,919,100
支払材料費等	13,452,390	11,245,678	2,206,712
役員報酬	1,710,000	1,702,400	7,600
給料手当	21,505,623	21,736,128	△ 230,505
臨時雇賃金	1,070,414	1,390,039	△ 319,625
法定福利費	3,404,358	3,482,599	△ 78,241
退職給付費用	2,162,034	2,041,452	120,582
福利厚生費	6,000	7,000	△ 1,000
会議費	37,169	34,981	2,188
旅費交通費	621,500	126,700	494,800
通信運搬費	1,562,262	1,546,828	15,434
減価償却費	1,167,080	1,184,266	△ 17,186
什器備品費	0	471,700	△ 471,700
消耗品費	2,095,978	2,002,469	93,509
修繕費	1,783,981	1,414,649	369,332
印刷製本費	669,466	645,952	23,514
光熱水料費	2,040,159	1,800,910	239,249
賃借料	1,818,310	1,766,936	51,374
保険料	1,504,940	1,458,250	46,690

科 目	当年度	前年度	増 減
諸謝金	2,755,200	2,108,733	646,467
租税公課	1,064,600	1,133,700	△ 69,100
支払負担金	5,000	5,000	0
委託費	1,860,595	1,484,225	376,370
教材費	5,450	0	5,450
支払手数料	209,564	65,729	143,835
貸倒損失	8,012	0	8,012
燃料費	442,444	359,598	82,846
損害賠償金	270,133	73,700	196,433
雑 費	137,780	90,091	47,689
管理費	2,091,530	1,954,667	136,863
役員報酬	418,000	289,600	128,400
給料手当	1,139,279	1,143,076	△ 3,797
法定福利費	49,560	15,698	33,862
退職給付費用	18,000	18,000	0
福利厚生費	1,000	1,000	0
会議費	14,769	14,042	727
役員等旅費交通費	63,260	37,560	25,700
通信運搬費	41,145	43,715	△ 2,570
減価償却費	5,742	5,815	△ 73
消耗品費	6,500	50,436	△ 43,936
印刷製本費	8,821	17,930	△ 9,109
光熱水料費	8,514	9,965	△ 1,451
租税公課	21,000	21,000	0
支払負担金	295,500	286,500	9,000
支払手数料	440	330	110
経常費用計	139,277,238	132,230,546	7,046,692
評価損益等調整前当期経常増減額	780,306	113,464	666,842
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	780,306	113,464	666,842
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産除却損	1	1	0
車両運搬具除却損	1	1	0
経常外費用計	1	1	0
当期経常外増減額	△ 1	△ 1	0
当期一般正味財産増減額	780,305	113,463	666,842
一般正味財産期首残高	21,866,709	21,753,246	113,463
一般正味財産期末残高	22,647,014	21,866,709	780,305
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	
指定正味財産期首残高	0	0	
指定正味財産期末残高	0	0	
III 正味財産期末残高	22,647,014	21,866,709	780,305

正味財産増減計算書内訳表
令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計			法人会計	内部取引 消去	合 計
	シルバー人材 センター事業	共 通	小 計			
I 一般正味財産増減の部						
1 経常増減の部						
(1) 経常収益						
受託事業収益	101,707,206	0	101,707,206	2,504,964	0	104,212,170
受取配分金	73,815,266		73,815,266			73,815,266
受取材料費等	13,452,390		13,452,390			13,452,390
受取事務費	14,439,550		14,439,550	2,504,964		16,944,514
指定管理事業等受託収益	2,720,490	0	2,720,490	0	0	2,720,490
指定管理事業等受託収益	2,720,490		2,720,490			2,720,490
労働者派遣事業等受託収益	1,271,043	0	1,271,043	0	0	1,271,043
労働者派遣事業等受託収益	1,271,043		1,271,043			1,271,043
受取会費	0	206,000	206,000	188,000	0	394,000
正会員受取会費		188,000	188,000	188,000		376,000
ゴールド会員受取会費		17,000	17,000			17,000
特別会員受取会費		1,000	1,000			1,000
受取補助金等	31,134,800	0	31,134,800	0	0	31,134,800
受取連合交付金	14,339,000		14,339,000			14,339,000
受取地方公共団体補助金	16,795,800		16,795,800			16,795,800
特定資産運用益	0	43	43	0	0	43
特定資産受取利息		43	43			43
雑収益	0	324,998	324,998	0	0	324,998
受取利息		101	101			101
受取保険金		270,133	270,133			270,133
雑収益		54,764	54,764			54,764
経常収益計	136,833,539	531,041	137,364,580	2,692,964	0	140,057,544

科 目	公益目的事業会計			法人会計	内部取引 消去	合 計
	シルバーク人材 センター事業	共 通	小 計			
(2) 経常費用						
事業費	137,185,708	0	137,185,708	0	0	137,185,708
支払配分金	73,815,266		73,815,266			73,815,266
支払材料費等	13,452,390		13,452,390			13,452,390
役員報酬	1,710,000		1,710,000			1,710,000
給料手当	21,505,623		21,505,623			21,505,623
臨時雇賃金	1,070,414		1,070,414			1,070,414
法定福利費	3,404,358		3,404,358			3,404,358
退職給付費用	2,162,034		2,162,034			2,162,034
福利厚生費	6,000		6,000			6,000
会議費	37,169		37,169			37,169
旅費交通費	621,500		621,500			621,500
通信運搬費	1,562,262		1,562,262			1,562,262
減価償却費	1,167,080		1,167,080			1,167,080
消耗品費	2,095,978		2,095,978			2,095,978
修繕費	1,783,981		1,783,981			1,783,981
印刷製本費	669,466		669,466			669,466
光熱水料費	2,040,159		2,040,159			2,040,159
賃借料	1,818,310		1,818,310			1,818,310
保険料	1,504,940		1,504,940			1,504,940
諸謝金	2,755,200		2,755,200			2,755,200
租税公課	1,064,600		1,064,600			1,064,600
支払負担金	5,000		5,000			5,000
委託費	1,860,595		1,860,595			1,860,595
教材費	5,450		5,450			5,450
支払手数料	209,564		209,564			209,564
貸倒損失	8,012		8,012			8,012
燃料費	442,444		442,444			442,444
損害賠償金	270,133		270,133			270,133
雑費	137,780		137,780			137,780

科 目	公益目的事業会計			法人会計	内部取引 消去	合 計
	シルバー人材 センター事業	共 通	小 計			
管理費				2,091,530	0	2,091,530
役員報酬				418,000		418,000
給料手当				1,139,279		1,139,279
法定福利費				49,560		49,560
退職給付費用				18,000		18,000
福利厚生費				1,000		1,000
会議費				14,769		14,769
役員等旅費交通費				63,260		63,260
通信運搬費				41,145		41,145
減価償却費				5,742		5,742
消耗品費				6,500		6,500
印刷製本費				8,821		8,821
光熱水料費				8,514		8,514
租税公課				21,000		21,000
支払負担金				295,500		295,500
支払手数料				440		440
経常費用計	137,185,708	0	137,185,708	2,091,530	0	139,277,238
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 352,169	531,041	178,872	601,434	0	780,306
評価損益等計	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 352,169	531,041	178,872	601,434	0	780,306
2 経常外増減の部						
(1) 経常外収益						
経常外収益計	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用						
固定資産除却損	1	0	1	0	0	1
車両運搬具除却損	1	0	1	0	0	1
経常外費用計	1	0	1	0	0	1
当期経常外増減額	△ 1	0	△ 1	0	0	△ 1

科 目	公益目的事業会計				法人会計	内部取引 消去	合 計
	シルバー人材 センター事業	共 通	小 計				
当期一般正味財産増減額	△ 352,170	531,041	178,871	601,434	0	780,305	
一般正味財産期首残高	4,897,267	2,740,591	7,637,858	14,228,851	0	21,866,709	
一般正味財産期末残高	4,545,097	3,271,632	7,816,729	14,830,285	0	22,647,014	
II 指定正味財産増減の部							
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	
指定正味財産期首残高	0	0	0	0	0	0	
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0	
III 正味財産期末残高	4,545,097	3,271,632	7,816,729	14,830,285	0	22,647,014	

財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

減価償却資産について、定額法により減価償却を実施している。

(2) リース取引の処理方法

重要性の乏しい所有権移転外ファイナンスリース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法により計上している。

(3) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税込方式によっている。

2 特定資産の増減及びその残高

特定資産の増減及びその残高は、次のとおりである。 (単位：円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
固定資産取得資金積立資産	3,000,000	0	3,000,000	0
消費税納付額増加対策資金積立金	0	2,707,000	0	2,707,000
計	3,000,000	2,707,000	3,000,000	2,707,000

3 特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。 (単位：円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対する額)
特定資産				
固定資産取得資金積立資産	(0)	(0)	(0)	(-)
消費税納付額増加対策資金積立金	2,707,000	(0)	(2,707,000)	(-)
計	2,707,000	(0)	(2,707,000)	(-)

4 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物	3,608,466	2,987,558	620,908
車両運搬具	13,135,720	11,649,056	1,486,664
什器備品	5,358,259	4,403,935	954,324
合計	22,102,445	19,040,549	3,061,896

5 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額は、次のとおりである。 (単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
補助金						
高齢者就業機会確保事業費等補助金	(公社)広島県シルバー人材センター連合会	0	5,339,000	5,339,000	0	—
雇用開発支援事業費等補助金	(公社)広島県シルバー人材センター連合会	0	9,000,000	9,000,000	0	—
江田島市シルバー人材センター補助金	江田島市	0	16,795,800	16,795,800	0	—
合計		0	31,134,800	31,134,800	0	

附属明細書

1 特定資産

特定資産の明細は、「財務諸表に対する注記」に記載している。

2 引当金の明細

該当なし。

財産目録
令和5年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)				
	現金預金	現金・手元保管	運転資金として	129,627
		振替口座 ゆうちょ銀行・江田島支店	運転資金として	84,442
		普通預金 広島銀行・江田島支店	運転資金として	9,231,330
		普通預金 広島銀行・江田島支店	運転資金として 法人管理	166,375
	未収金	江田島市役所ほか	契約金額ほか	6,540,104
		江田島市役所ほか	契約金額法人会計事務費 法人管理	606,577
	前払金	保険会社への前払金	令和5年度分役員賠償責任保険料	58,000
		保険会社への前払金	令和5年度分情報漏えい保険料	58,540
流動資産合計				16,874,995
(固定資産)				
特定資産	消費税納付額増加 対策資金積立金	定期預金 広島銀行・江田島支店	公益目的事業の積立財産であり、消費税納付額増加 対策資金積立金として管理されている預金。	2,707,000
その他固定資産	土地	江田島市江田島町中央一丁 目17950番地1ほか3箇所 チップヤード1273㎡	公益目的保有財産であり、公益目的事業に使用して いる。	7,200,000
	建 物	倉庫ほか 本所・支所	公益目的保有財産であり、公益目的事業に使用して いる。	620,908
	車両運搬具	軽ダンプ5193ほか15台	共有財産であり、うち98.9%は公益目的保有財産として 公1事業の用に供し、1.1%は管理運用の用に供している。	1,486,664
	什器備品	マイクロシヨベルほか	公益目的保有財産であり、公益目的事業に使用して いる。	954,324
	電話加入権	0823-42-5211 他2回線	公益目的保有財産であり、公益目的事業に使用して いる。	167,272
	預託金	自動車リサイクル料金	公益目的保有財産であり、公益目的事業に使用して いる。	102,790
固定資産合計				13,238,958
資 産 合 計				30,113,953
(流動負債)				
	未払金	会員に対するもの	公益目的事業に供する配分金の未払い分	5,642,791
		舛上石油ほか 業者に対するもの	公益目的事業に供する材料費等の未払い分	176,523
		新星工業社ほか 業者に対するもの	公益目的事業に供する業務委託料等の未払い分	1,272,114
	預り金	職員社会保険料等	職員からの社会保険料・源泉所得税預り分	272,143
		報酬所得税	チップ事業等及び講習会講師謝金に係る所得税預り分	103,368
流動負債合計				7,466,939
(固定負債)				
固定負債合計				0
負 債 合 計				7,466,939
正 味 財 産				22,647,014

収 支 計 算 書

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

(単位:円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受託事業収益	102,184,000	104,212,170	△ 2,028,170
受取配分金	72,733,000	73,815,266	△ 1,082,266
受取材料費等	13,600,000	13,452,390	147,610
受取事務費	15,851,000	16,944,514	△ 1,093,514
指定管理事業等受託収益	2,760,000	2,720,490	39,510
指定管理事業等受託収益	2,760,000	2,720,490	39,510
労働者派遣事業等受託収益	1,207,000	1,271,043	△ 64,043
労働者派遣事業等受託収益	1,207,000	1,271,043	△ 64,043
受取会費	451,000	394,000	57,000
正会員受取会費	432,000	376,000	56,000
ゴールド会員受取会費	17,000	17,000	0
特別会員受取会費	1,000	1,000	0
賛助会員受取会費	1,000	0	1,000
受取補助金等	31,158,000	31,134,800	23,200
受取連合交付金	14,339,000	14,339,000	0
受取地方公共団体補助金	16,819,000	16,795,800	23,200
受取負担金	15,000	0	15,000
受取負担金	15,000	0	15,000
受取寄付金	1,000	0	1,000
受取寄付金	1,000	0	1,000
特定資産運用益	1,000	43	957
特定資産受取利息	1,000	43	957
雑収益	363,000	324,998	38,002
受取利息	1,000	101	899
受取保険金	271,000	270,133	867
雑収益	91,000	54,764	36,236
経常収益計	138,140,000	140,057,544	△ 1,917,544
(2) 経常費用			
事業費	137,159,000	137,185,708	△ 26,708
支払配分金	72,733,000	73,815,266	△ 1,082,266
支払材料費等	13,600,000	13,452,390	147,610
役員報酬	1,710,000	1,710,000	0
給料手当	21,509,000	21,505,623	3,377
臨時雇賃金	1,160,000	1,070,414	89,586
法定福利費	3,430,000	3,404,358	25,642

科目	予算額	決算額	差異
退職給付費用	2,255,000	2,162,034	92,966
福利厚生費	7,000	6,000	1,000
会議費	38,000	37,169	831
旅費交通費	626,000	621,500	4,500
通信運搬費	1,705,000	1,562,262	142,738
減価償却費	1,168,000	1,167,080	920
什器備品費	2,000	0	2,000
消耗品費	2,143,000	2,095,978	47,022
修繕費	1,812,000	1,783,981	28,019
印刷製本費	670,000	669,466	534
光熱水料費	2,147,000	2,040,159	106,841
賃借料	1,819,000	1,818,310	690
保険料	1,550,000	1,504,940	45,060
諸謝金	2,888,000	2,755,200	132,800
租税公課	1,084,000	1,064,600	19,400
支払負担金	5,000	5,000	0
委託費	1,914,000	1,860,595	53,405
教材費	21,000	5,450	15,550
支払手数料	211,000	209,564	1,436
貸倒損失	9,000	8,012	988
燃料費	530,000	442,444	87,556
損害賠償金	271,000	270,133	867
雑費	142,000	137,780	4,220
管理費	2,414,000	2,091,530	322,470
役員報酬	458,000	418,000	40,000
給料手当	1,199,000	1,139,279	59,721
法定福利費	76,000	49,560	26,440
退職給付費用	36,000	18,000	18,000
福利厚生費	3,000	1,000	2,000
会議費	43,000	14,769	28,231
役員等旅費交通費	80,000	63,260	16,740
通信運搬費	58,000	41,145	16,855
減価償却費	6,000	5,742	258
消耗品費	12,000	6,500	5,500
印刷製本費	9,000	8,821	179
光熱水料費	44,000	8,514	35,486
租税公課	73,000	21,000	52,000
支払負担金	299,000	295,500	3,500
支払手数料	10,000	440	9,560
雑費	8,000	0	8,000
経常費用計	139,573,000	139,277,238	295,762
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 1,433,000	780,306	△ 2,213,306
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 1,433,000	780,306	△ 2,213,306

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産除却損	0	1	△ 1
車両運搬具除却損	1,000	1	999
経常外費用計	1,000	1	999
当期経常外増減額	△ 1,000	△ 1	△ 999
当期一般正味財産増減額	△ 1,434,000	780,305	△ 2,214,305
一般正味財産期首残高	21,866,709	21,866,709	0
一般正味財産期末残高	20,432,709	22,647,014	△ 2,214,305
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	20,432,709	22,647,014	△ 2,214,305

収支計算書に対する注記

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

(単位:円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異
【投資活動の部】			
(投資活動収入)			
固定資産売却収入	1,000	1	999
車両運搬具売却収入	1,000	1	999
敷金・保証金等戻り収入	4,000	3,380	620
預託金戻り収入	4,000	3,380	620
特定資産取崩戻り収入	293,000	293,000	0
消費税納付額増加対策資金積立金取崩収入	293,000	293,000	0
投資活動収入計	298,000	296,381	1,619
(投資活動支出)			
固定資産取得支出	1,254,000	1,158,600	95,400
車両運搬具購入支出	1,026,000	930,600	95,400
什器備品購入支出	228,000	228,000	0
敷金・保証金等支出	7,000	6,320	680
預託金支出	7,000	6,320	680
投資活動支出計	1,261,000	1,164,920	96,080
【財務活動の部】			0
(財務活動収入)			0
財務活動収入計	0	0	0
(財務活動支出)			0
財務活動支出計	0	0	0

監査報告書

令和5年5月1日

公益社団法人 江田島市シルバー人材センター
理事長 瀬戸本 三郎 様

公益社団法人 江田島市シルバー人材センター

監事 土手光洋 

監事 三馬雅司 

私たち監事は、令和4年4月1日から令和5年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果につき次のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、主たる事務所において業務及び財産の状況を調査いたしました。

以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。さらに、現金、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書について検討いたしました。

2 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

ア 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。

イ 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書の監査結果

計算書類及びその附属明細書は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。

(3) ヒューマンエラーの事故が多く見受けられるので、事故防止に万全を期していただきたい。

3 監査委員の意見

令和5年10月から施行される「インボイス制度」に伴い財政状況が大変厳しい状況となることが予想されるため、健全経営を目指して努力されたい。

第2号議案

理事及び監事の選任の件

公益社団法人江田島市シルバー人材センター定款第23条第1項の規定に基づき、理事及び監事を次のとおり選任したいので、総会の議決を求める。

令和5年5月31日提出

公益社団法人 江田島市シルバー人材センター
理事長 瀬戸本 三 郎

理事及び監事候補者名簿(案)

役 職 名	氏 名
理 事	瀬戸本 三郎
理 事	山崎 哲 男
理 事	前 田 晴 行
理 事	平 本 行 寛
理 事	大 下 郁 美
理 事	佐 藤 克 志
理 事	原 田 裕 二
理 事	山 原 富美 男
理 事	香 川 裕 子
理 事	富 山 進
理 事	堀 和 利
理 事	宇 根 民 子
理 事	谷 本 正 行
理 事	佐 山 小 百合
理 事	三 浦 寿 一
理 事	渡 辺 高 久
監 事	土 手 光 洋
監 事	川 尻 博 文

(役員任期は、令和5年5月31日から令和7年5月総会の日まで)

第3号議案

理事長に対する権限委任の承認の件

本日の決議のうち、次に該当する字句修正等の権限を理事長に委任することについて、総会の承認を求める。

- 1 会員の権利義務に関しない軽微な字句の修正並びに違算又は誤字の修正
- 2 行政庁の指示による修正

令和5年5月31日提出

公益社団法人 江田島市シルバー人材センター
理事長 瀬戸本 三郎

第 2 号報告

令和 5 年度事業計画の件

公益社団法人江田島市シルバー人材センターの令和 5 年度事業計画について、定款第 4 2 条第 1 項の規定に基づき、総会へ報告する。

令和 5 年 5 月 3 1 日提出

公益社団法人 江田島市シルバー人材センター
理事長 瀬戸本 三 郎

令和5年度事業計画書

はじめに

日本人口の現状は、令和5年1月推計で1億2,477万人であり、前年同月比で約53万人の減少となる見込みであり、65歳以上の人口は3,621万人、高齢化率28.9%と超高齢化社会となっています。

加えて、日本の人口は2008年の約1億2,800万人をピークに、2021年7月には約1億2,547万人に減少し、2055年には8,993万人となると見込まれており、確実に少子化が進行しています。

人手不足加や後継者不足は日本経済の発展にとって重大な阻害要因であり、深刻な課題となっています。

加えて、3年にも及ぶ新型コロナウイルス感染症感染拡大は、中小企業を中心に大きなダメージを与えることとなりました。

政府においては、経済の立て直しが急務である中でロシアによるウクライナ侵攻が発生し、諸物価高騰が更に経済を冷え切らせ、国民生活は大変苦しい状況に陥っています。

その中であって、政府は、人手不足解消の一環として定年延長施策を強力に進めており、65歳までの雇用を基本とし、今後は70歳定年を努力目標にしております。

このような状況の中、全国シルバー人材センター事業協会におきましては、平成30年3月から「第2次100万人計画」を策定し、高齢者が今までに培った技能や経験を活かし、新たな就業先で働くことの喜びと健康保持を通じ、元気な地域社会を築くことを目指していますが、コロナ感染拡大により、入会希望者は少なく、かつ、会員の高齢化による退会者の増加等が起因し、シルバー人材センターの会員数は遂に70万人を割り込む状況となりました。

加えて、70歳定年延長を視野にいれますと、シルバー人材センターの会員加入及び就業開拓には、新たな発想と手法が必要となる時期が到来しています。

当シルバー人材センターにおいても、会員加入促進を図るために、「会員拡大・就業開拓部会」や「女性部会」等を設置し、昨年度実施しました先進地視察を踏まえ、新たな視野で今後の江田島市シルバー人材センターを築いていきたいと決意しております。

その一環として、本年1月から各自治会長様のご協力をいただき、全自治会を対象にシルバー人材センターをPRさせていただくことにしており、既に一部の自治会においてシルバー事業及び現状を説明するとともに、過疎化する地域においてシルバー事業の必要性を訴え、ひとりでも多くの方々に会員となっていただけるよう最大限の努力を行ってまいります。

他方、令和5年10月から施行される「インボイス制度」及び、江田島市の財政状況が大変厳しい現状において、令和5年度から補助金の減額が示されたことにより、本年4月から健全で持続可能なシルバー人材センターの財政運営

を図るために、やむを得ず、事務比率の値上げを発注者様にお願いするに至りました。

今後も、シルバー人材センターの基本であります【自主・自立、共働・共助】を認識し、【臨・短・軽】の適正就業を順守しつつ、公益社団法人の根幹であります【収支相償】に則った財政運営に努めてまいります。

他方、受注業務については、市民ニーズの多様化に対応できるよう、常に新たなチャレンジ精神を持ち、市民の皆様からの『信頼と信用』を得、発注者の方々に感謝されるシルバーとなるよう日々精進してまいります。

これらの点を踏まえ、執行部及び役職員並びに会員一同全力で、次の重点事項に取り組んでまいります。

1 会員拡大・就業開拓について

(1) 会員拡大・就業開拓部会の活動

政府が進めている「生涯現役社会」に基づき、高齢者雇用安定法が改正され、70才までの就業機会の確保が企業に努力義務化される中、シルバー人材センターの会員拡大及び就業の場の確保については、新たな視点に立って事業展開を行う必要性が高まっています。

当シルバー人材センターでは、会員拡大・就業開拓部会の活動として推進員の協力を得つつ、全自治会を個別に訪問し、シルバー事業の周知及び過疎化する地域におけるシルバー事業の必要性を訴えてまいります。

加えて、関係機関等との連携を図り、市民ニーズや企業のニーズに沿った就業機会の確保と併せて定年後の魅力あるシルバー事業を展開することにより、会員加入促進を図ってまいります。

(2) 女性部会の活動

全国のシルバー人材センターにおいては、会員拡大の中心的要因が女性会員の加入促進であることを注視し、女性高齢者が魅力を持てるように多面的な就業開拓を実施しております。

当シルバー人材センターにおいても、女性部会を活性化し、女性に魅力あるシルバー事業とは何なのかを調査・研究し、新たなシルバー事業を展開することにより、女性会員の加入促進を図ってまいります。

他方、女性部会員が自ら企画することについては、事務局がしっかりサポートし、事業展開をする中で試行錯誤を繰り返して、持続可能な事業としてまいります。

2 安全・適正就業について

(1) 安全就業について

ヒューマンエラーが避けられない現状において、本年度も安全就業の基本を徹底的に周知するため、新規加入会員を対象とした「安全・衛生就業研修会」を実施することはもとより、一般作業に従事する全ての会員を対象とした、「安全・衛生就業研修会」を年2回程度開催し、マンネリ化する就業状況について、安全作業の基本と必要性を強力的に研修

するとともに、一般作業班長連絡会議を通じて、事故報告と事故要因、事故防止の周知を図り、全力で作業の安全確保に努めてまいります。

更に、安全就業の重要性に鑑み、専門的な知識を有する外部講師を招聘し安全衛生講習会を実施します。

(2) 適正就業について

会員加入促進を図ることにより、シルバー事業の基本であります「臨・短・軽」の徹底を図るように努めてまいります。

3 広報活動の推進について

(1) シルバー江田島「きらめき」の充実

広報活動の強化策として、広報委員会においてシルバー江田島「きらめき」の更なる内容の充実を図ります。

特に、シルバー会員の活動内容の周知について工夫をし、読者の方に理解し易くかつ心に残る広報誌となるように努めてまいります。

(2) 講習会等の開催について

ア 女性部会を中心とした、市民と会員が共に学ぶ講習会等を開催し、地域における女性活躍社会実現の一翼を担えるような活動を行ってまいります。

イ 草刈作業及び剪定作業の後継者育成事業を実施し、作業従事者の増員を図ります。

(3) 全自治会での広報活動について

令和5年3月から、全自治会の役員会及び総会に事務局及び会員拡大推進員が出席し、シルバー事業の周知及び過疎高齢化する地域においてシルバー事業の必要性を訴え、会員の拡大を図ります。

4 新規事業について

令和5年度から新たに真道山森林公園管理業務の指定管理者となったことにより、真道山森林公園の活性化の一環として会員と児童が交流する「児童夏休みミニキャンプ」を実施します。これを契機に更なる真道山森林公園の利用促進を企画し、シルバー事業のPRに努めてまいります。

5 その他

会員自らが、シルバー事業での就業を通じて「生きがい（社会参加）、仲間づくり、健康維持・増進」等を再認識し、働くことへの喜びや楽しみを市民の皆様へ示すことにより、一人でも多くの高齢者がシルバー人材センターに魅力を持ち、ともに過疎高齢化する地域を自分達の手で活性化しようとする動きが出てくることへの働きかけが大切であります。

そのために、執行部はもとより、役職員及び会員一同全力で魅力あるシルバー事業が展開できるよう努めてまいります。

第3号報告

令和5年度収支予算並びに令和5年度資金 調達及び設備投資の見込みの件

公益社団法人江田島市シルバー人材センターの令和5年度収支予算並びに令和5年度資金調達及び設備投資の見込みについて、定款第42条第1項の規定に基づき、総会へ報告する。

令和5年5月31日提出

公益社団法人 江田島市シルバー人材センター
理事長 瀬戸本 三郎

令和5年度収支予算書（損益ベース）
令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

（単位：円）

	予算額	前年度予算額	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受託事業収益	113,069,000	98,144,000	14,925,000
受取配分金	77,279,000	72,193,000	5,086,000
受取材料費等	17,924,000	10,100,000	7,824,000
受取事務費	17,866,000	15,851,000	2,015,000
指定管理事業等受託収益	3,081,000	2,520,000	561,000
指定管理事業等受託収益	3,081,000	2,520,000	561,000
労働者派遣事業等受託収益	1,158,000	907,000	251,000
労働者派遣事業等受託収益	1,158,000	907,000	251,000
受取会費	451,000	444,000	7,000
正会員受取会費	432,000	432,000	0
ゴールド会員受取会費	17,000	10,000	7,000
特別会員受取会費	1,000	1,000	0
賛助会員受取会費	1,000	1,000	0
受取補助金等	29,118,000	31,158,000	△ 2,040,000
受取連合交付金	13,319,000	14,339,000	△ 1,020,000
受取市補助金	15,799,000	16,819,000	△ 1,020,000
受取負担金	1,000	15,000	△ 14,000
受取負担金	1,000	15,000	△ 14,000
受取寄附金	1,000	1,000	0
受取寄附金	1,000	1,000	0
特定資産運用益	1,000	1,000	0
特定資産運用益	1,000	1,000	0
雑収益	51,000	93,000	△ 42,000
受取利息	1,000	1,000	0
受取保険金	1,000	1,000	
雑収益	49,000	91,000	△ 42,000
経常収益計	146,931,000	133,283,000	13,648,000
(2) 経常費用			
事業費	146,778,000	132,819,000	13,959,000
支払配分金	77,279,000	72,193,000	5,086,000
支払材料費等	17,924,000	10,100,000	7,824,000
役員報酬	1,140,000	1,710,000	△ 570,000
給料手当	24,056,000	23,550,000	506,000
臨時雇賃金	1,073,000	1,293,000	△ 220,000
法定福利費	3,291,000	3,430,000	△ 139,000
退職給付費用	2,298,000	2,255,000	43,000
福利厚生費	49,000	7,000	42,000
会議費	35,000	34,000	1,000
旅費交通費	561,000	223,000	338,000
通信運搬費	1,646,000	1,705,000	△ 59,000
減価償却費	1,180,000	1,100,000	80,000
什器備品費	2,000	121,000	△ 119,000
消耗品費	1,111,000	1,377,000	△ 266,000
修繕費	1,490,000	1,753,000	△ 263,000
印刷製本費	689,000	596,000	93,000
光熱水料費	2,136,000	1,759,000	377,000
賃借料	1,952,000	1,784,000	168,000
保険料	1,471,000	1,524,000	△ 53,000
諸謝金	3,020,000	2,570,000	450,000
租税公課	1,076,000	1,374,000	△ 298,000
支払負担金	5,000	10,000	△ 5,000
委託費	2,556,000	1,609,000	947,000
教材費	1,000	1,000	0
支払手数料	204,000	183,000	21,000

(単位：円)

	予算額	前年度予算額	増減
燃料費	389,000	415,000	△ 26,000
損害賠償金	1,000	1,000	0
雑費	143,000	142,000	1,000
管理費	2,261,000	1,470,000	791,000
役員報酬	240,000	330,000	△ 90,000
給料手当	1,266,000	428,000	838,000
法定福利費	64,000	76,000	△ 12,000
退職給付費用	29,000	36,000	△ 7,000
福利厚生費	28,000	3,000	25,000
会議費	42,000	43,000	△ 1,000
役員等旅費交通費	54,000	52,000	2,000
通信運搬費	55,000	58,000	△ 3,000
減価償却費	4,000	6,000	△ 2,000
消耗品費	6,000	12,000	△ 6,000
印刷製本費	9,000	9,000	0
光熱水料費	51,000	44,000	7,000
租税公課	56,000	73,000	△ 17,000
支払負担金	339,000	282,000	57,000
支払手数料	11,000	10,000	1,000
雑費	7,000	8,000	△ 1,000
経常費用計	149,039,000	134,289,000	14,750,000
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 2,108,000	△ 1,006,000	△ 1,102,000
基本財産評価損益等	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 2,108,000	△ 1,006,000	△ 1,102,000
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
固定資産売却益	0	0	0
前期損益修正益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産売却(除却)損	0	0	0
車両運搬具除去損	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
他会計振替額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 2,108,000	△ 1,006,000	△ 1,102,000
一般正味財産期首残高	22,647,014	21,866,709	780,305
一般正味財産期末残高	20,539,014	20,860,709	△ 321,695
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	20,539,014	20,860,709	△ 321,695

収支予算に係る注記

1 配分金収入の増加に連動する支出(支払配分金、支払材料費等)に限り、予算を超えて執行することができる。

収支予算書に係る注記

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

1 投資活動及び財務活動に関する見込

(単位：円)

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減
【投資活動収支の部】			
〈投資活動収入〉			
固定資産売却収入	0	0	0
車両運搬具売却収入	0	0	0
敷金・保証金等戻り収入	0	0	0
預託金戻り収入	0	0	0
特定資産取崩収入	0	3,000,000	△ 3,000,000
固定資産取得資金取崩収入	0	3,000,000	△ 3,000,000
投資活動収入計	0	3,000,000	△ 3,000,000
〈投資活動支出〉			
固定資産取得支出	350,000	3,000,000	△ 2,650,000
車両運搬具購入支出	0	1,026,000	△ 1,026,000
什器備品購入支出	350,000	1,974,000	△ 1,624,000
敷金・保証金等支出	0	6,000	△ 6,000
預託金支出	0	6,000	△ 6,000
特定資産取得支出	1,000,000	0	1,000,000
消費税納付額増加対策資金積立金	1,000,000	0	1,000,000
投資活動支出計	1,350,000	3,006,000	△ 1,656,000
【財務活動収支の部】			
〈財務活動収入〉			
借入金収入	0	0	0
短期借入金収入	0	0	0
リース債務収入	0	0	0
リース債務収入	0	0	0
財務活動収入計	0	0	0
〈財務活動支出〉			
借入金返済支出	0	0	0
短借入金期返済支出	0	0	0
リース債務返済支出	0	0	0
リース債務返済支出	0	0	0
財務活動支出	0	0	0

2 借入金限度額

令和5年度における短期借入金限度額は、1,000万円とする。

3 債務負担額

シルバー21システム及びカラー複合機等のリース契約による債務負担額は、次のとおりとする。

事 項	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
シルバー21 システム(業務ソフト)	50,160円	50,160円	4,180円	
シルバー21 システム(本所3台ソフト)	150,480円	150,480円	150,480円	
シルバー21 システム(支所業務ソフト)	95,040円	95,040円	95,040円	95,040円
シルバー21 システム(本所パソコン等)	240,240円	240,240円		
シルバー21 システム(本所パソコン)	59,400円	59,400円	59,400円	44,550円
カラー複合機 (本所)	151,632円	63,180円		
カラー複合機 (支所)	104,280円	104,280円	104,280円	86,900円
AED(自動体外式除細 動器)(本所・支所)	139,920円	139,920円	139,920円	139,920円

令和5年度収支予算の事業別区分経理の内訳表（参考資料）

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

（単位：円）

科 目	公益目的事業会計（実施事業等会計）										法人会計	内部取引 控除	合 計	
	シルバー人材センター事業					計	共 通	小 計	法人会計	内部取引 控除				
	就業機会 提供事業	就業機会 確保事業	企画提案方 式事業（NPO ボランティヤ）	指定管理受託事業										
				真道山管理受託事業	チップリサ イクル事業									
I 一般正味財産増減の部														
1. 経常増減の部														
(1) 経常収益														
受託事業収益	91,600,000	13,388,000	120,000	3,495,000	0	108,603,000	0	108,603,000	4,466,000	0	113,069,000	0		
受取配分金	73,675,000	0	109,000	3,495,000	0	77,279,000	0	77,279,000	0	0	77,279,000	0		
受取材料費等	17,924,000	0	0	0	0	17,924,000	0	17,924,000	0	0	17,924,000	0		
受取事務費	1,000	13,388,000	11,000	0	0	13,400,000	0	13,400,000	4,466,000	0	17,866,000	0		
指定管理事業等受託収益	0	0	0	3,081,000	0	3,081,000	0	3,081,000	0	0	3,081,000	0		
指定管理事業等受託収益	0	0	0	3,081,000	0	3,081,000	0	3,081,000	0	0	3,081,000	0		
労働者派遣事業等受託収益	0	1,158,000	0	0	0	1,158,000	0	1,158,000	0	0	1,158,000	0		
労働者派遣事業等受託収益	0	1,158,000	0	0	0	1,158,000	0	1,158,000	0	0	1,158,000	0		
受取会費	0	0	0	0	0	0	0	0	235,000	0	235,000	0		
正会員受取会費	0	0	0	0	0	0	0	0	216,000	0	216,000	0		
ゴールド会員会費	0	0	0	0	0	0	0	0	17,000	0	17,000	0		
特別会員受取会費	0	0	0	0	0	0	0	0	1,000	0	1,000	0		
賛助会員受取会費	0	0	0	0	0	0	0	0	1,000	0	1,000	0		
受取補助金等	0	26,638,000	480,000	0	0	29,118,000	0	29,118,000	0	0	29,118,000	0		
受取連合交付金	0	13,319,000	0	0	0	13,319,000	0	13,319,000	0	0	13,319,000	0		
受取市補助金	0	13,319,000	480,000	0	0	15,799,000	0	15,799,000	0	0	15,799,000	0		
受取負担金	0	0	0	0	0	0	0	0	1,000	0	1,000	0		
受取負担金	0	0	0	0	0	0	0	0	1,000	0	1,000	0		
受取寄附金	0	0	0	0	0	0	0	0	1,000	0	1,000	0		
受取寄附金	0	0	0	0	0	0	0	0	1,000	0	1,000	0		
特定資産運用益	0	0	0	0	0	0	0	0	1,000	0	1,000	0		
特定資産運用益	0	0	0	0	0	0	0	0	1,000	0	1,000	0		
雑収益	0	0	0	0	0	0	0	0	51,000	0	51,000	0		
受取利息	0	0	0	0	0	0	0	0	1,000	0	1,000	0		
受取保険金	0	0	0	0	0	0	0	0	1,000	0	1,000	0		
雑収益	0	0	0	0	0	0	0	0	49,000	0	49,000	0		
経常収益計	91,600,000	41,184,000	600,000	6,576,000	2,000,000	141,960,000	289,000	142,249,000	4,682,000	0	146,931,000	0		

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計(実施事業等会計)										法人会計	内部 取引 控除	合 計
	シルバー人材センター事業						計	共 通	小 計				
	就業機会 提供事業	就業機会 確保事業	企画提案方 式事業(ホフ ホ、ラゲイ)	指定管理受託事業 真道山管理 受託事業	チップリサ イクル事業								
法定福利費											64,000	0	64,000
退職給付費用											29,000	0	29,000
福利厚生費											28,000	0	28,000
会議費											42,000	0	42,000
役員等旅費交通費											54,000	0	54,000
通信運搬費											55,000	0	55,000
減価償却費											4,000	0	4,000
消耗品費											6,000	0	6,000
印刷製本費											9,000	0	9,000
光熱水料費											51,000	0	51,000
租税公課											56,000	0	56,000
支払負担金											339,000	0	339,000
支払手数料											11,000	0	11,000
雑費											7,000	0	7,000
経 常 費 用 計	91,600,000	46,037,000	589,000	6,327,000	2,225,000	146,778,000	0	146,778,000	2,261,000	2,261,000	149,039,000	0	149,039,000
評価損益等調整前当期経常増減額	0	△ 4,853,000	11,000	249,000	△ 225,000	△ 4,818,000	289,000	△ 4,529,000	2,421,000	2,421,000	△ 2,108,000	0	△ 2,108,000
基本財産評価損益等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	0	△ 4,853,000	11,000	249,000	△ 225,000	△ 4,818,000	289,000	△ 4,529,000	2,421,000	2,421,000	△ 2,108,000	0	△ 2,108,000
2. 経常外増減の部													
(1) 経常外収益													
固定資産売却収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
前期損益修正益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用													
固定資産売却益(除却)損	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計(実施事業等会計)										法人会計	内部取引 控除	合 計
	シルバーク人材センター事業						計	共 通	小 計				
	就業機会 提供事業	就業機会 確保事業	企画提案方 式事業(ハーフ プロジェクト)	指定管理受託事業 真道山管理 受託事業	チップリサ イクル事業								
車両運搬具除去損	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	0	△ 4,853,000	11,000	249,000	△ 225,000	△ 4,818,000	289,000	△ 4,529,000	2,421,000	0	△ 2,108,000	0	22,647,014
一般正味財産期首残高	0	0	0	0	0	0	0	7,816,729	14,830,285	0	20,539,014	0	20,539,014
一般正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0	0	3,287,729	17,251,285	0	20,539,014	0	20,539,014
II 指定正味財産増減の部													
当期正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
III 正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0	0	3,287,729	17,251,285	0	20,539,014	0	20,539,014

令和5年度資金調達及び設備投資の見込みについて

(1) 資金調達の見込みについて

借入れの予定		<input checked="" type="checkbox"/>	あり	<input type="checkbox"/>	なし
事業 番号	借入先	金額		用途	
公1	広島銀行江田島支店	10,000,000円		会員に対する配分金等の支払いに充てる資金として、記載金額を限度として、必要に応じて借入する。	

(2) 設備投資の見込について

設備投資の予定		<input type="checkbox"/>	あり	<input checked="" type="checkbox"/>	なし
事業 番号	設備投資の内容	支出又は収入の 予定額		資金調達方法 又は取得資金の用途	

就業心得

- 1 就業には、センター会員としての「誇り」をもって当たり、お互いに仲良く協力して就業しましょう。
- 2 就業先の往復には、交通事故のないように、十分注意しましょう。
- 3 就業先の諸規則を遵守し、事故やケガのないように注意しましょう。
- 4 自分の健康管理を十分にして、無理な健康状態では就業しないように注意しましょう。
- 5 家庭の都合や健康上の理由で約束の就業ができないときは、事前に発注者と事務局へ必ず連絡しましょう。
- 6 就業先での始業・終業時間は、正しく守りましょう。
- 7 就業先で、苦情（盗難、破損等）を受けることのないように配慮しましょう。
- 8 たとえ少量といえども、就業中の飲酒はやめましょう。
- 9 就業を通して知り得た事項は、他に漏らさないでください。
- 10 就業に際して、事故、疑問等があった場合は、速やかに事務局へ連絡しその指示を受けましょう。

安全心得

- 1 就業は、安全第一を心がけ、決して無理をせず、急いだり、慌てたりしないようにしましょう。
- 2 服装、履物は、就業にあった動きやすいものにしましょう。
- 3 就業前には、軽い準備体操をして体をほぐしておきましょう。
- 4 健康には常に留意し、年に1度は健康診断を受け、健康な状態で就業しましょう。
- 5 就業の前日は、十分睡眠を取るようにしましょう。
- 6 グループ就業の際は、合図・連絡・伝達を行い、他の会員に迷惑をかけるないようにしましょう。
- 7 自転車を利用する場合は、道の端を通り、段差に注意し、走行中の自動車には近寄らず、脇道から出るときは、必ず降りて左右の安全を確かめ、前方だけでなく、周囲にも気を配るようにしましょう。



公益社団法人

江田島市シルバー人材センター

(江田島市シルバーワークプラザ内)

〒737-2122 江田島市江田島町中央一丁目15番15号

TEL (0823) 42-5211 FAX (0823) 42-5051

大柿支所

〒737-2213 江田島市大柿町大原1118番地の2

TEL・FAX (0823) 57-3191